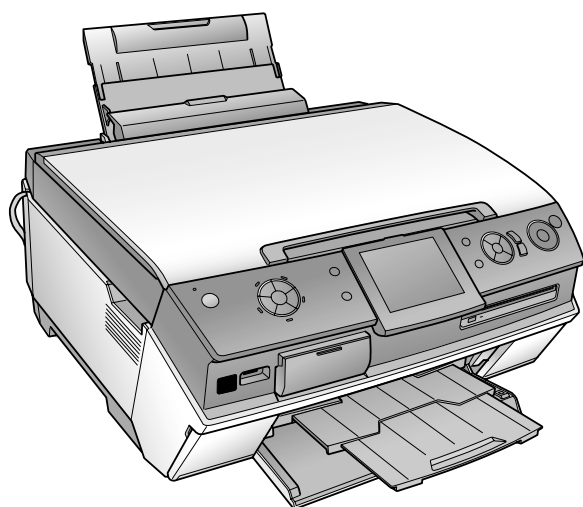
Colorio

インクジェットプリンタ（複合機）

PM-T990
準備ガイド

〜はじめにお読みください〜

本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。
ご使用の前には必ず『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』−「製品使用上のご注意」をお読みください。

おうちプリント

本製品を使用可能な状態にするまでの手順

1. 本体の準備
本体の準備 …… 2

2. 接続とネットワークの設定
接続方法の確認 …… 6
ネットワーク情報の確認 …… 8
操作パネルの基本操作と用紙のセット …… 10
ネットワークの基本設定 …… 12
無線 LAN の設定 …… 15
接続状態の確認 …… 21

3. ソフトウェアのインストールとパソコンの設定
ソフトウェアのインストールについて …… 22
ネットワーク接続時のインストール …… 23
USB 接続時のインストール …… 29

デジタル家電と接続して印刷
デジタル家電と接続して印刷 …… 30

ネットワーク設定の確認と変更方法
インターネット定期接続の設定 …… 32
ファイル共有の設定 …… 33
ネットワーク設定の変更 …… 34
ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷 …… 36
ネットワーク設定を初期設定に戻す …… 37

困ったときは（トラブル対処方法）
ネットワーク設定時のトラブル …… 38
ソフトウェアインストール時のトラブル …… 39
パソコンからの印刷 / スキャン時のトラブル …… 40
デジタル家電接続時のトラブル …… 41
その他のトラブル …… 42

付録
仕様 …… 43
オープンソースソフトウェアについて …… 45
ネットワークの基礎知識 …… 47

—— 本書は製品の近くに置いてご活用ください。——

マニュアルの使い方

1 『PM-T990 準備ガイド』（本書）

本製品を使用できる状態にするまでの手順を説明しています。
手順に従って、本製品のセットアップを行ってください。

2 『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』

本製品の使い方全般を説明しています。

3 『PM-T990 活用 + サポートガイド』（電子マニュアル）

パソコンとつないだときの、詳しい使い方を説明しています。

- もっと便利に楽しく使うための活用情報
- 困ったときの対処方法
- 付属ソフトウェアの紹介

4 『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

本製品をネットワークに接続して使用するときの詳しい設定方法などを説明しています。

上記 1 ～ 4 のマニュアルは、すべて最新版（PDF 形式）を
以下のホームページからダウンロードすることができます。
＜ http://www.epson.jp/guide/pcopy/ ＞

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

マーク	説明
！注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
※	表や図の中での補足情報や制限事項を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

準備の流れ

本製品を使用可能な状態にするまでに必要な作業の流れを説明します。

1 本体の準備 ☞ 本書 2 ページ

インクカートリッジを取り付けて、本製品を使用可能な状態にします。

2 接続方法の確認 ☞ 本書 6 ページ

プリンタとパソコンの接続方法を確認します。

※無線 / 有線のネットワーク接続を同時に利用することはできません。

無線 LAN 接続　有線 LAN 接続　USB 接続

3 ネットワーク情報の確認 ☞ 本書 8 ページ

ネットワーク接続に必要な情報（各種アドレスなど）を確認します。

4 操作パネルの基本操作と用紙のセット ☞ 本書 10 ページ

ネットワーク設定に必要なパネルの基本操作を覚えます。
また、テスト印刷用に用紙をセットします。

5 ネットワークの基本設定 ☞ 本書 12 ページ

TCP/IP、DNS サーバ、プロキシサーバの設定をします。

6 無線 LAN の設定 ☞ 本書 15 ページ

無線 LAN の設定をします。

7 接続状態の確認 ☞ 本書 21 ページ

ネットワーク接続状態を確認します。

8 ソフトウェアのインストールとパソコンの設定 ☞ 本書 22 ページ

プリンタドライバやスキャナドライバなど各種ソフトウェアをインストールします。また、パソコンの設定をします。

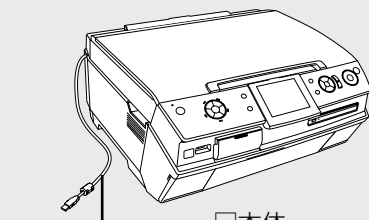
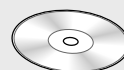
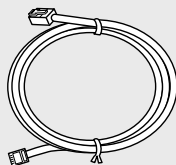
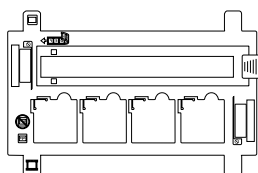
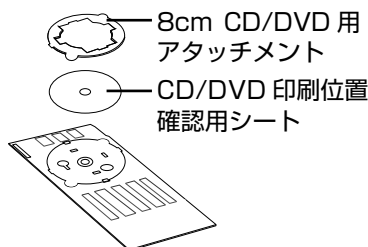
本体の準備

①箱の中身を確認

万一、不足や損傷しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

準備に必要なもの

USB ケーブル

□本体

□ インクカートリッジ（6 色）
※ 6 個のインクカートリッジが個別に包装されていることもあります。

□ ソフトウェア CD-ROM
※ ソフトウェアと電子マニュアルが収録されています。

□ Ethernet（LAN）ケーブル
※ 本製品を有線 LAN 接続するときに使用します。
無線 LAN や USB で接続するときは不要です。

□ フィルムホルダ
※ フィルム印刷時に使用します。
使用しないときは本体に収納できます。
☞本書 5 ページ「フィルムホルダの収納」

□ CD/DVD トレイ

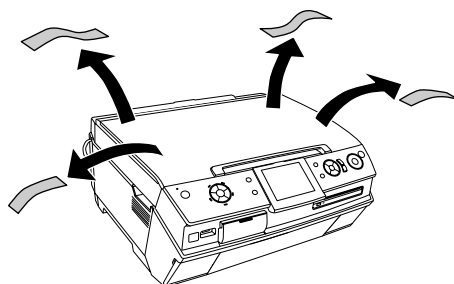
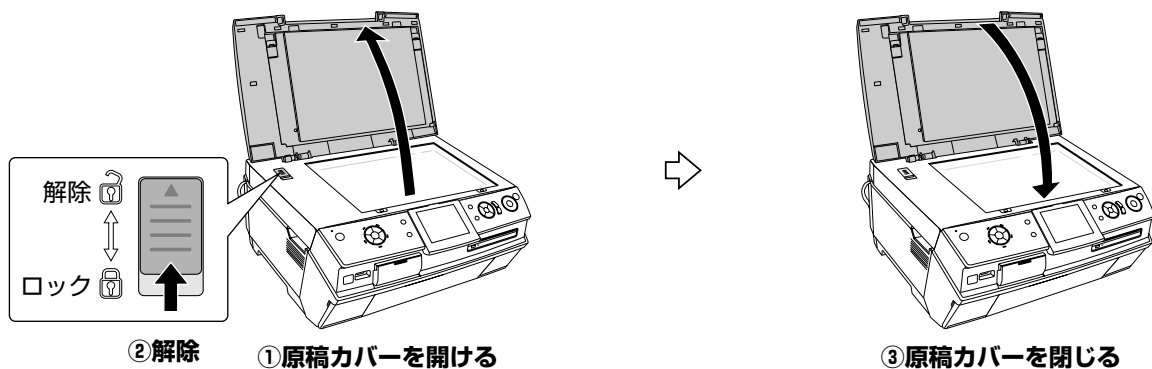
□ PM-A970/PM-T990 操作ガイド

□ PM-T990 TV プリント活用ガイド

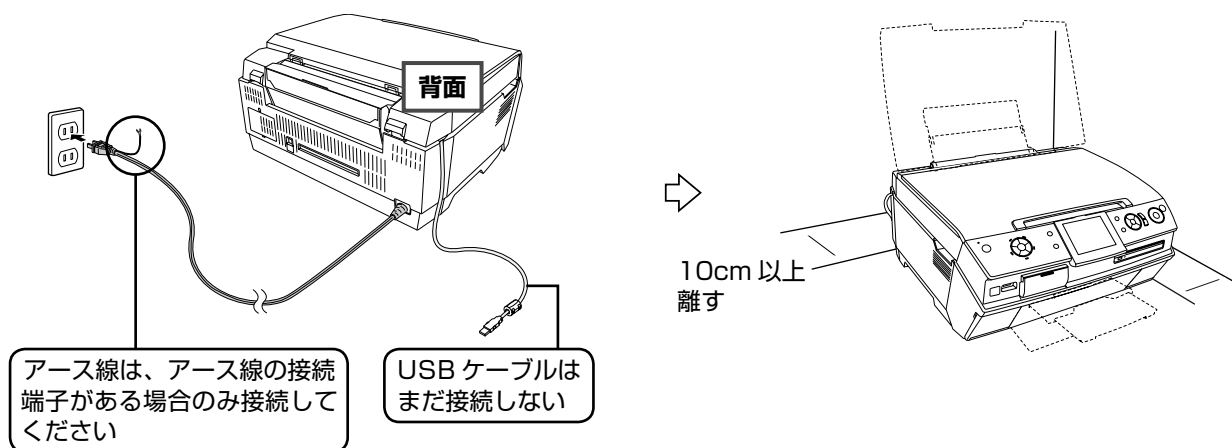
□本製品使用上の注意シール

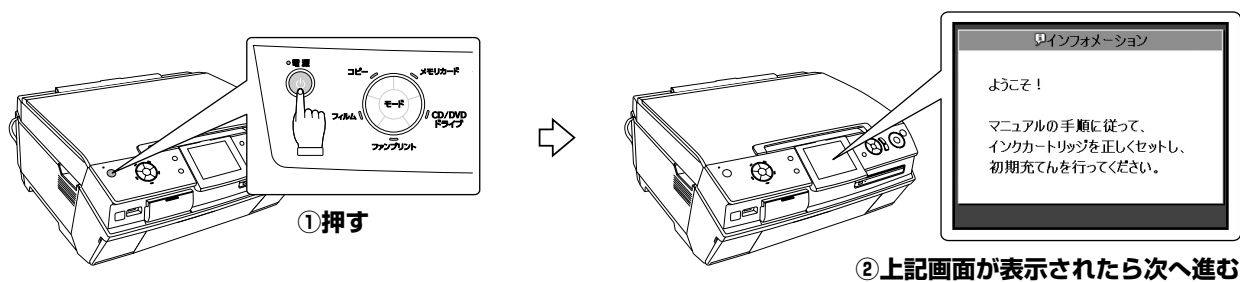
□保証書

②青いテープと保護材の取り外し

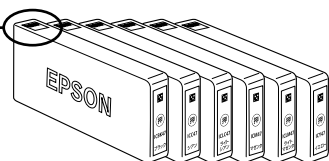
青いテープと保護材をすべて取り外します。

③固定レバーの解除

④電源の接続と設置

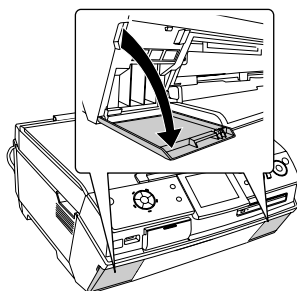
⚠警告
- AC100V 以外の電源は使用しないでください。

！注意
- 電源プラグの抜き差しがしやすいように、コンセントから近い位置に設置してください。

参考
- 漏電による事故防止について
  本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。
  コンセントの変更については、お近くの電気工事店にご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

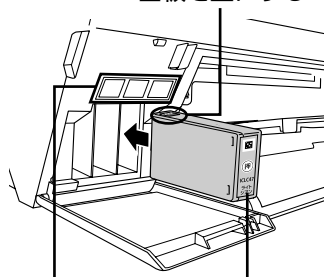
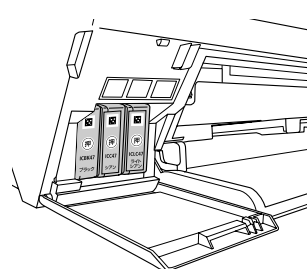
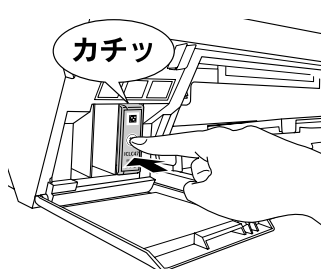
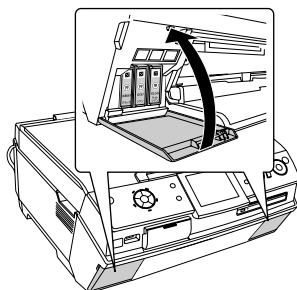
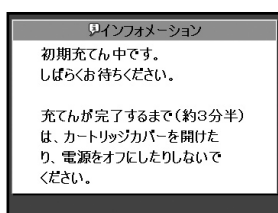
⑤電源をオンにする

参考
- エラーが発生したときは、一旦電源をオフにし、「③固定レバーの解除」をもう一度ご確認ください。それでもエラー表示が消えないときは、以下をご覧ください。
  ☞『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』170 ページ「エラー表示一覧」

⑥インクカートリッジのセットと初期充てん

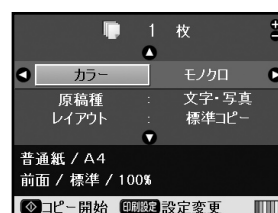
1　インクカートリッジを袋から取り出します。

2　左右のインクカートリッジカバーを開けます。

左側		
BK	C	LC
ブラック	シアン	ライトシアン

右側		
M	LM	Y
マゼンタ	ライトマゼンタ	イエロー

3　ラベルの色を確認して、インクカートリッジを挿入します。

インクカートリッジをしっかりと押し込みます。

4　左右のインクカートリッジカバーを閉じます。

5 下の画面が表示されるまで待ちます。

約３分半

- 電源を切らない
- カバーを開けない

参考

- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、2 回目以降に取り付けるインクカートリッジの方が印刷できる枚数は多くなります。

以上で、「本体の準備」の説明は終了です。

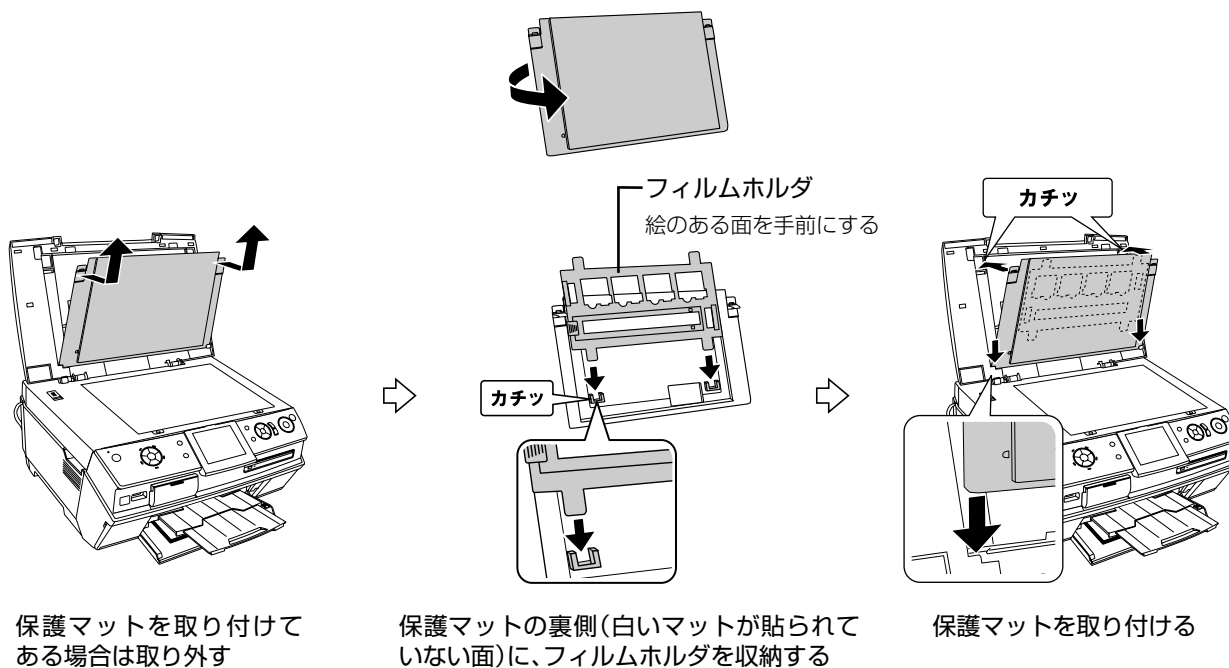
本体の準備が完了したら

■フィルムホルダの収納

フィルムホルダを使用しないときは、原稿カバー内（保護マットの裏）に収納しておくことができます。

保護マットを取り付けてある場合は取り外す

保護マットの裏側(白いマットが貼られていない面)に、フィルムホルダを収納する

保護マットを取り付ける

■この後は

- 本製品のみで使用する場合

これで準備完了です。『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』をご覧ください。

- パソコンとつないで使用する場合

引き続き次ページへお進みください。パソコンと接続してアプリケーションソフトをインストールすると、画像を組み合わせたり、いろいろな用紙を使って楽しい印刷ができます。
また、ネットワーク接続をすると、複数のネットワーク機器（パソコンなど）から本製品を使用することができます。

接続方法の確認

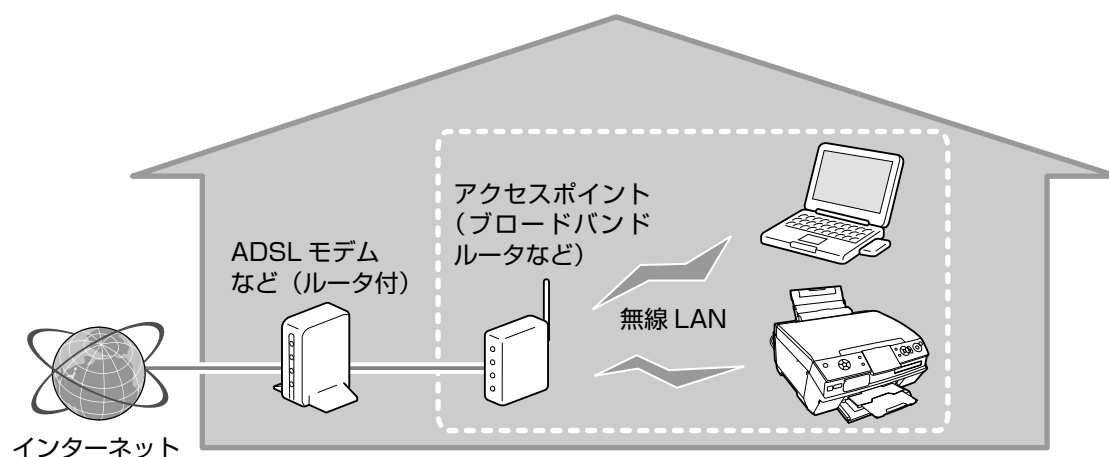
参考

- 本書中で使用されているネットワーク用語を巻末の用語解説で説明しています。
  本書 47 ページ「ネットワークの基礎知識」

本製品は、以下の方法でパソコンと接続できます。
お使いのパソコンの環境を確認して、どの接続方法を使用するか決めてください。

- 無線 LAN で接続 本書 6 ページ
- 有線 LAN で接続 本書 7 ページ
- USB ケーブルで接続 本書 7 ページ

無線 LAN で接続

本製品は、アクセスポイントを経由する無線 LAN（インフラストラクチャモード）環境に接続できます。以下の環境が整っているか確認してください。

機材	説明
アクセスポイント	IEEE802.11b/g に対応した製品が必要です。
パソコン	アクセスポイントに無線 LAN または有線 LAN で接続されている必要があります。

参考

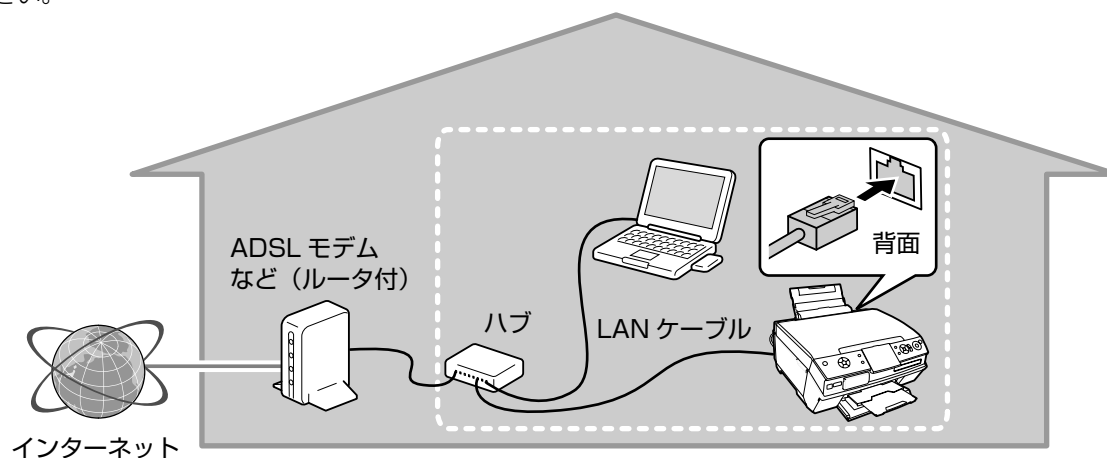
- 本製品は、アクセスポイントを経由せずに無線 LAN デバイス同士で接続するアドホックモードでも使用できます。アドホックモードでの使用方法は、以下をご覧ください。
  『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』

無線 LAN 接続の設定の流れ

無線 LAN 環境の確認ができたら、以下の流れで設定します。

1. ネットワーク情報の確認 本書 8 ページ
2. 操作パネルの基本操作と用紙のセット 本書 10 ページ
3. ネットワークの基本設定 本書 12 ページ
4. 無線 LAN の設定 本書 15 ページ
5. 接続状態の確認 本書 21 ページ

有線 LAN で接続

本製品は、LAN ケーブルを使用してネットワーク環境に接続できます。以下の環境が整っているか確認してください。

機材	説明
ハブ（HUB）[※1] または ブロードバンドルータ	各機器の LAN ケーブルを接続するハブ（HUB）が必要です。 アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）にハブ機能が搭載されているときは、アクセスポイントにも接続できます。
パソコン	有線 LAN もしくはブロードバンドルータ機能搭載アクセスポイントの無線 LAN で接続されている必要があります。

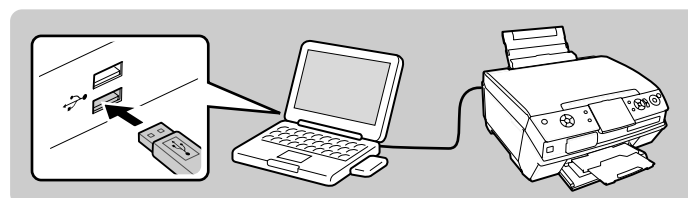
※ 1：10Base-T リピータハブは動作しない場合があります。

有線 LAN 接続の設定の流れ

LAN ケーブルの接続が完了したら、以下の流れで設定します。

1. ネットワーク情報の確認 ☞ 本書 8 ページ
2. 操作パネルの基本操作と用紙のセット ☞ 本書 10 ページ
3. ネットワークの基本設定 ☞ 本書 12 ページ
4. 接続状態の確認 ☞ 本書 21 ページ

USB ケーブルで接続

本製品は、USB ケーブルを使用してパソコンと直接接続できます。

機材	説明
USB ケーブル	本製品に接続済みです。
パソコン	事前の準備は不要です。

USB ケーブル接続の設定の流れ

USB ケーブルの接続が完了したら、ソフトウェアをインストールします。
本製品の電源がオフになっていることを確認して、以下のページへお進みください。
☞ 本書 22 ページ「ソフトウェアのインストールについて」

以上で「接続方法の確認」の説明は終了です。

ネットワーク情報の確認

本製品をネットワークに接続するために必要な情報を、確認してメモします。

無線 LAN 環境のみ必要な情報

アクセスポイントの取扱説明書をご覧になって、以下の項目を確認してください。なお、AOSS 機能または WCN 機能を使用してセキュリティを自動設定するときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
SSID（ネットワーク名）	
暗号化方式（セキュリティ）	□ WEP-64bit（40bit）/ □ WEP-128bit（104bit） □ WPA-PSK（TKIP）/ □ WPA-PSK（AES）*1
WEP キー / パスワード	
WEP キー No. *2	□ 1　□ 2　□ 3　□ 4

＊ 1：WPA2 規格に対応
＊ 2：「1」以外を選択したときは EpsonNet Config で設定

参考

- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の設定によっては、通信できる機器を制限する MAC アドレスフィルタリングを設定しているときがあります。そのときは、操作パネルの［ネットワーク情報確認］で MAC アドレスを確認し、アクセスポイントに登録して、通信を許可しておいてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
  本書 36 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」
- ネットワークに Apple AirMac ベースステーションが設定され、WEP HEX や WEP ASCII 以外のパスワードを使用してネットワークにアクセスするときには、該当する WEP キーを入力する必要があります。詳しくは、Apple AirMac ベースステーションの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスを手動設定する際に必要な情報

DHCP 機能を使用して IP アドレスを自動割り当てしているときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
本製品に割り当てる IP アドレス	____ . ____ . ____ . ____
サブネットマスクアドレス	____ . ____ . ____ . ____
デフォルトゲートウェイアドレス	____ . ____ . ____ . ____

参考

- デフォルトゲートウェイは、アクセスポイントの「LAN 側の IP アドレス」を設定してください。
- 本製品の IP アドレスは自動取得できます。

本製品とデジタル家電を接続して印刷サービスを利用する際に必要な情報

本製品とデジタルテレビなどを接続して、データ放送の情報やインターネット上のコンテンツを印刷することができます。
本製品をインターネット環境に接続するために必要な情報を確認します。

項目	以下の欄にメモしてください	
DNS サーバアドレス	プライマリ	＿＿＿＿＿ . ＿＿＿＿＿ . ＿＿＿＿＿ . ＿＿＿＿＿
	セカンダリ	＿＿＿＿＿ . ＿＿＿＿＿ . ＿＿＿＿＿ . ＿＿＿＿＿
プロキシサーバアドレス	アドレス	
	ポート番号	

参考

- ご利用のインターネット接続環境によって、接続に必要なアドレスの種類が異なります。すでにインターネットに接続している機器の設定やプロバイダから配布されている資料などを確認してください。

以上で、「ネットワーク情報の確認」の説明は終了です。

次にネットワークの設定をするための、操作パネルの使い方と用紙のセット方法を説明します。
次ページへお進みください。

操作パネルの基本操作と用紙のセット

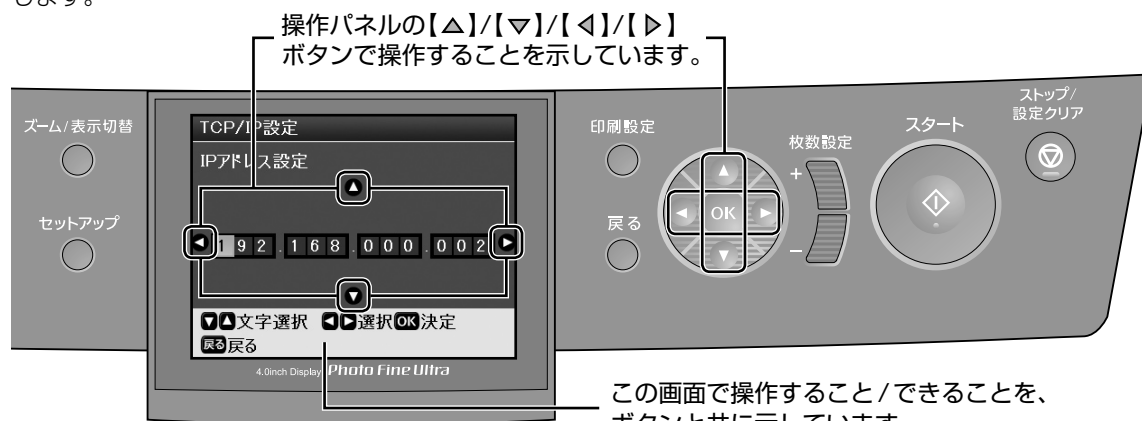
ネットワークの設定作業に必要な操作パネルの基本操作を説明します。

項目選択

液晶ディスプレイの画面で項目や設定値を選択するときは、画面右側のボタンを操作します。

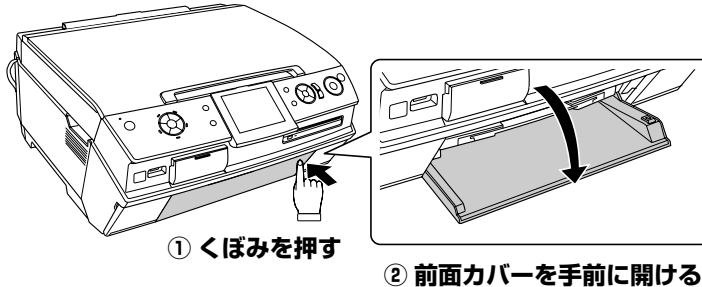
ボタン	説明
【△】【▽】【◁】【▷】	項目や設定値を選択するときなどに使用します。
【OK】	選択 / 変更した設定を有効にします。
【戻る】	ひとつ前の画面に戻ります。

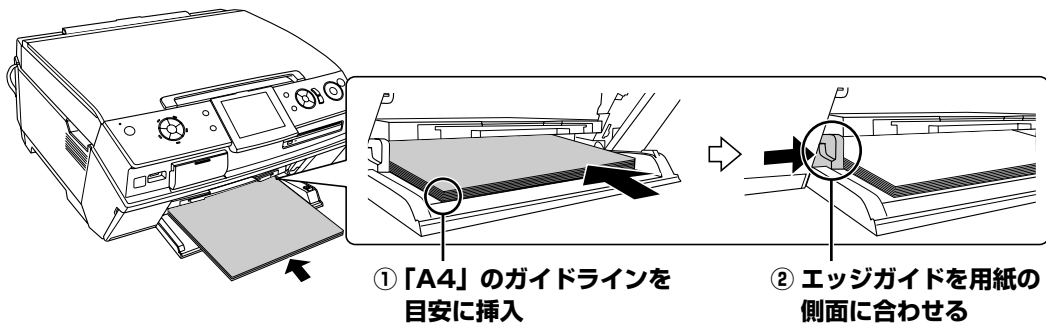
文字入力

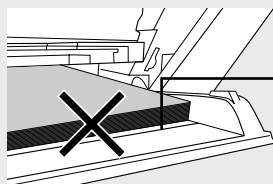
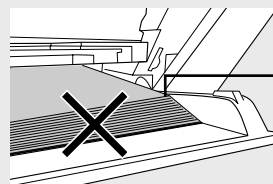
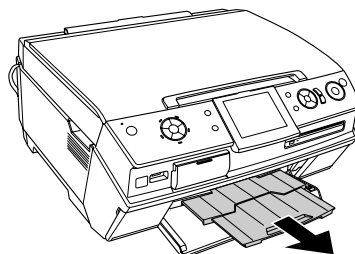
液晶ディスプレイの画面で文字を入力するときは、画面右側のボタンと左側の【ズーム / 表示切替】ボタンを操作します。

ボタン	説明
【△】【▽】	文字を選択します。
【◁】【▷】	入力欄を選択します。
【−】	文字を消去します。
【ズーム / 表示切替】	文字の種類（英字の大文字 / 小文字、数字）を切り替えます。
【OK】	選択 / 変更した設定を有効にします。
【戻る】	ひとつ前の画面に戻ります。

用紙のセット

ネットワーク設定の最後にテスト印刷をするための、用紙のセット方法を説明します。

1 前面カバーを手前に開けます。

2 用紙を挿入して、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙はそろえてから、印刷する面を下にして縦方向にセットしてください。

!注意

- 用紙を奥に入れすぎないようにしてください。奥まで入れすぎると、正常に給紙できません。

3 排紙トレイを引き出します。

以上で、「操作パネルの基本操作と用紙のセット」の説明は終了です。

次に操作パネルでネットワークの設定をします。次ページへお進みください。

ネットワークの基本設定

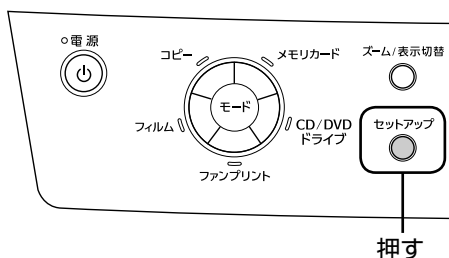
ネットワーク接続に必要な、プリンタ名、TCP/IP、DNS サーバ、プロキシサーバの設定をします。

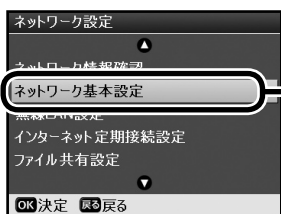
1 本製品の電源がオンになっていることを確認します。

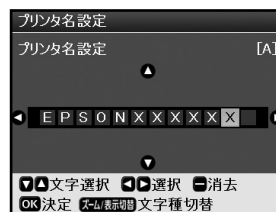
!注意
- 操作パネルの設定中に電源をオフにしたりコンセントを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 メニューの[ネットワーク設定]を選択します。

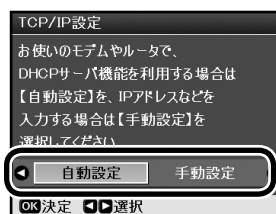
① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

4 [ネットワーク基本設定] を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

5 プリンタ名を確認します。

プリンタ名は、ネットワーク上で本製品にアクセスまたは識別する際に必要な情報です。

① 【OK】ボタンで決定

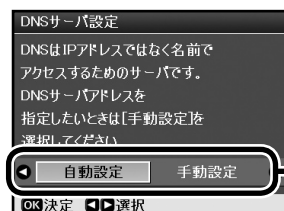
参考
- 初期設定は「EPSONXXXXXX」（X は MAC アドレスの下 6 桁）になっています。プリンタ名を変更するときは、文字を入力し直します。
☞ 本書 14 ページ「プリンタ名の変更」

6 TCP/IP を設定します。

ここでは［自動設定］を選択します。
ご利用のアクセスポイントやブロードバンドルータに搭載の DHCP サーバによる IP アドレス自動取得機能を有効にしているときは、［自動設定］を選択すると簡単に設定できます。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考
- 本製品に固有の IP アドレスを割り当てるときは、［手動設定］を選択して、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］のアドレスを入力します。
☞ 本書 14 ページ「TCP/IP の手動設定」

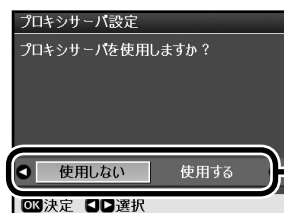
7 DNS サーバを設定します。

ここでは［自動設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- DNS サーバアドレスを指定するときは、［手動設定］を選択して、［プライマリ DNS サーバ］、［セカンダリ DNS サーバ］のアドレスを入力します。
  ☞ 本書 14ページ「DNSサーバの手動設定」

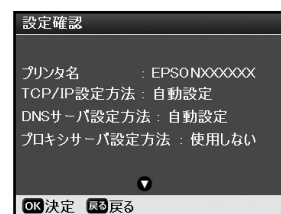
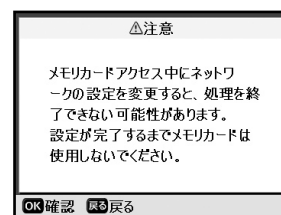
8 プロキシサーバを設定します。

ここでは［使用しない］を選択します。

参考

- プロキシサーバを使用するときは、［使用する］を選択して、［プロキシサーバ］のアドレスと［ポート］を入力します。
  ☞本書 14 ページ「プロキシサーバの手動設定」

9 設定内容を確認します。

① 【OK】ボタンで決定

⚠注意
メモリカードアクセス中にネットワークの設定を変更すると、処理を終了できない可能性があります。
設定が完了するまでメモリカードは使用しないでください。
OK確認　戻る戻る

② 【OK】ボタンで確認

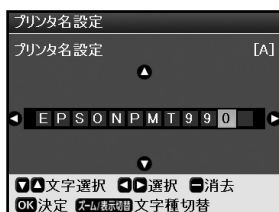
以上で、「ネットワークの基本設定」の説明は終了です。

ご利用の環境に合わせて以下のページへお進みください。

- 無線 LAN 接続
  ☞ 本書 15 ページ「無線 LAN の設定」
- 有線 LAN 接続
  ☞ 本書 21 ページ「接続状態の確認」

ネットワーク情報の手動設定

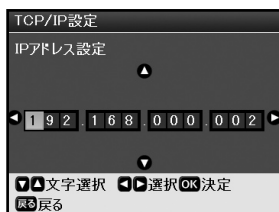
プリンタ名の変更

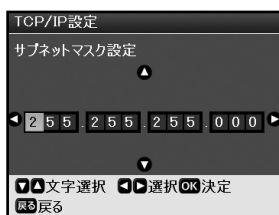
プリンタ名を変更するときは、12 ページの手順 5 で文字を入力し直します。

①【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

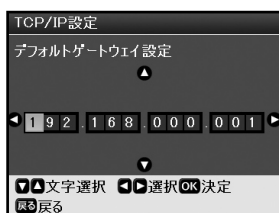
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

TCP/IP の手動設定

TCP/IP を手動で設定するときは、12 ページの手順 6 で［手動設定］を選択して、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］のアドレスを入力します。

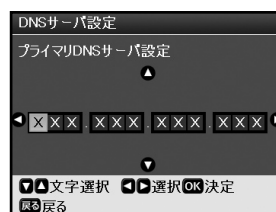
＜ IP アドレス＞

①【▽】か【△】ボタンで数字選択
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

＜サブネットマスク＞

①【▽】か【△】ボタンで数字選択
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

＜デフォルトゲートウェイ＞

①【▽】か【△】ボタンで数字選択
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

DNS サーバの手動設定

DNS サーバを手動で設定するときは、13 ページの手順 7 で［手動設定］を選択して、［プライマリ DNS サーバ］、［セカンダリ DNS サーバ］のアドレスを入力します。

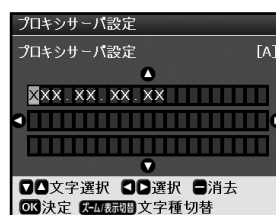
＜プライマリ DNS サーバ＞

①【▽】か【△】ボタンで数字選択
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

＜セカンダリ DNS サーバ＞

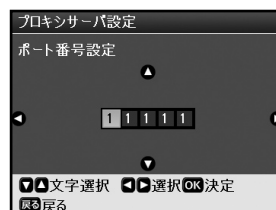
①【▽】か【△】ボタンで数字選択
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

プロキシサーバの手動設定

プロキシサーバを使用するときは、13 ページの手順 8 で［使用する］を選択して、［プロキシサーバ］のアドレスと［ポート］を入力します。

＜プロキシサーバ＞

①【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

＜ポート＞

①【▽】か【△】ボタンで数字選択
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

無線 LAN の設定

無線 LAN のセキュリティを設定して、アクセスポイントに接続します。
本製品は、以下の方法で無線 LAN の設定ができます。

■無線 LAN を手動で設定

8 ページでメモをとった無線 LAN のセキュリティを手動で設定します。
☞ 本書 15 ページ「無線 LAN 手動設定」

■AOSS 機能で無線 LAN を自動設定

お手持ちのアクセスポイントが株式会社バッファロー製品で AOSS 機能に対応しているときは、セキュリティを自動で設定できます。
☞ 本書 17 ページ「AOSS 無線 LAN 自動設定」

■WCN（Windows Connect Now）機能で無線 LAN を自動設定

Windows XP の Service Pack2（SP2）をご利用で、USB フラッシュメモリをお持ちの場合に、セキュリティを自動で設定できます。
☞ 本書 19 ページ「WCN 無線 LAN 自動設定」

! 注意

- 無線 LAN を使用するときは、WEP または WPA などのセキュリティを設定してください。セキュリティで保護されていないネットワークでは、不特定の第三者の無線傍受などにより、お客様のデータが漏洩するおそれがあります。
- 操作パネルの設定中に電源をオフにしたりコンセントを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。
- 無線 LAN 設定を［有効］にすると、有線 LAN では使用できません。

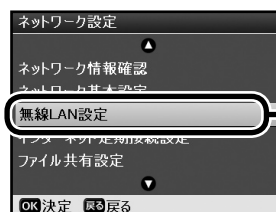
無線 LAN 手動設定

先ほどメモした無線 LAN のセキュリティ情報を手動で設定します。

①無線 LAN 環境の確認

1 「ネットワーク情報の確認」の手順でメモした内容を手元に用意します。

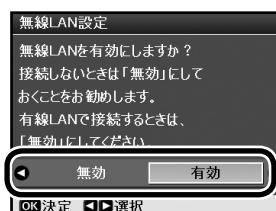
☞ 本書 8 ページ「ネットワーク情報の確認」

2 アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

②無線 LAN の有効化

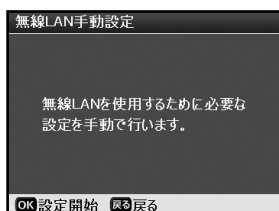
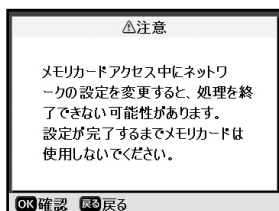
1 ［無線 LAN 設定］を選択します。

参考

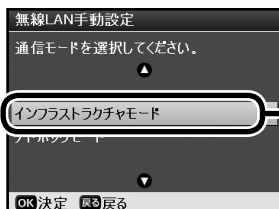
- 上の画面になっていない場合は、【セットアップ】ボタンを押して、メニューの［ネットワーク設定］を選択します。

2 ［有効］を選択します。

つづく

③無線 LAN の手動設定

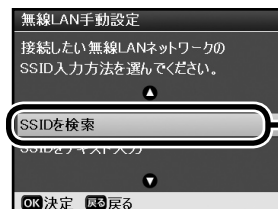
1 ［無線 LAN 手動設定］を選択します。

③【OK】ボタンで設定開始

④【OK】ボタンで確認

2 通信モードを選択します。

ここでは、［インフラストラクチャモード］を選択します。

参考

- 本製品をアドホックモードで使用するときは、以下をご覧ください。
  ☞『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』

3 SSID の入力方法を選択します。

ここでは、［SSID を検索］を選択します。

参考

- SSID を手動で入力するときは、［SSID をテキスト入力］を選択して、SSID を入力してください。

4 接続する SSID（ネットワーク名）を選択します。

参考

- SSID が何も表示されないときは、アクセスポイントが通信可能な状態か確認してください。
- アクセスポイントがステルス機能などを使用して、SSID を表示しないように設定しているときは、［戻る］ボタンを押して、1 つ前の手順に戻り、SSID を直接入力します。

5 セキュリティ方式を選択します。

［なし］を選択した場合は、手順 7 へお進みください。

6 WEP キーまたは WPA パスワードを入力します。

［WEP-64bit（40bit）］または［WEP-128bit（104bit）］を選択した場合

① WEP キーの入力方法を選択します。

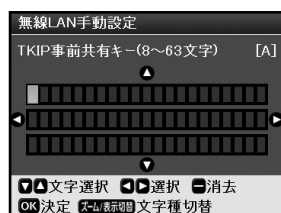
ASCII 文字	WEP キーが 5 または 13 文字の場合に選択します。
16 進数	WEP キーが 10 または 26 桁の場合に選択します。

② WEP キーを入力して、【OK】ボタンを押します。

①【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

［WPA-PSK（TKIP）］または［WPA-PSK（AES）］を選択した場合

WPA パスワードを入力し、【OK】ボタンを押します。

①【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

7 設定内容を確認します。

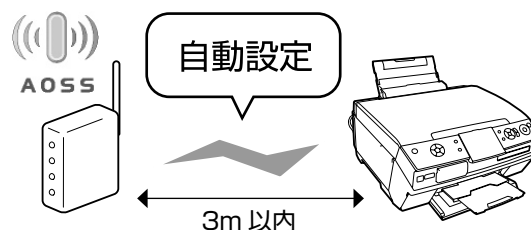
①【OK】ボタンで決定

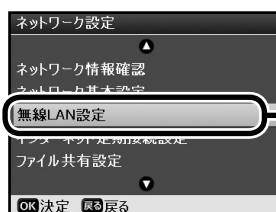
以上で、「無線 LAN 手動設定」の説明は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。

本書 21 ページ「接続状態の確認」

AOSS 無線 LAN 自動設定

お手持ちのアクセスポイントが株式会社バッファロー製品で AOSS 機能に対応しているときに、セキュリティを自動設定できます。

①無線 LAN 環境の確認

アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

②無線 LAN の有効化

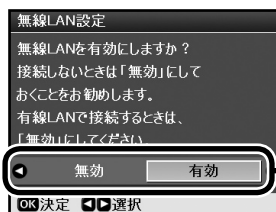
1 ［無線 LAN 設定］を選択します。

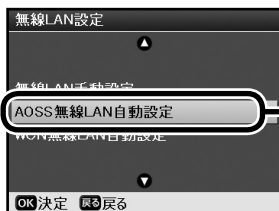
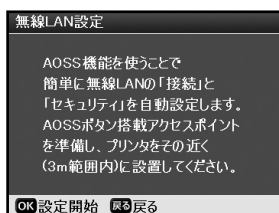
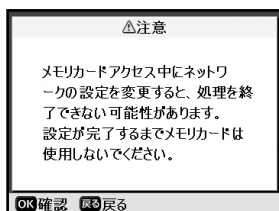
①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定

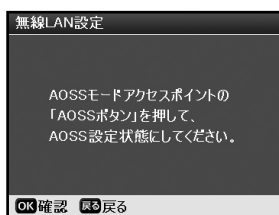
- 上の画面になっていない場合は、【セットアップ】ボタンを押して、メニューの［ネットワーク設定］を選択します。

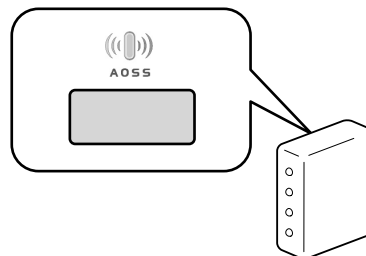
2 ［有効］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

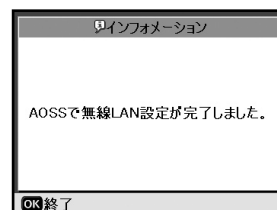
2. 接続とネットワークの設定

③ AOSS による無線 LAN の自動設定

1 ［AOSS 無線 LAN 自動設定］を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定

③【OK】ボタンで設定開始

④【OK】ボタンで確認

2 アクセスポイントとのセキュリティ設定を実行します。

①【OK】ボタンで確認

3 アクセスポイントの［AOSS］ボタン（またはそれに相当するボタン）を AOSS ランプが点滅するまで押します。

参考

- ご利用のアクセスポイント（ルーター）によっては、AOSS 専用のボタンが用意されていない場合があります。
［AOSS］のボタンについては、アクセスポイント（ルーター）の取扱説明書でご確認ください。

4 以下の画面が表示されたら、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

①【OK】ボタンで終了

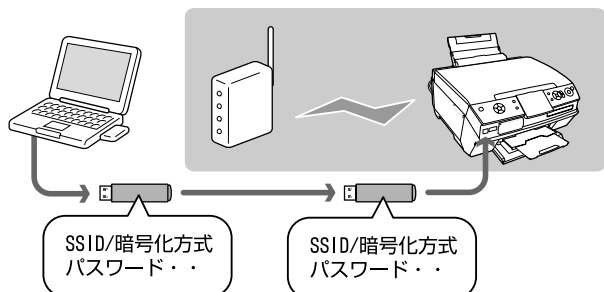
参考

- AOSS 無線 LAN 自動設定は、正常に処理が完了するまでに時間がかかることがあります。設定完了のメッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。
- 接続できなかったときは手順 1 からやり直してください。
- アクセスポイントの AOSS 機能の説明や困ったときの対処方法は、アクセスポイントの取扱説明書または株式会社バッファローのホームページをご覧ください。

以上で、「AOSS 無線 LAN 自動設定」の説明は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。
☞ 本書 21 ページ「接続状態の確認」

WCN 無線 LAN 自動設定

WCN（Windows Connect Now）は、Windows XP の Service Pack2（SP2）をご利用で、USB フラッシュメモリをお持ちの場合に、無線 LAN のセキュリティを自動設定するための機能です。

①無線 LAN 設定の USB フラッシュメモリへの書き込み

Windows のワイヤレスネットワークセットアップウィザードを起動して、無線 LAN の設定を USB フラッシュメモリ*[1] に書き込みます。

＊ 1：ハブ付きの USB フラッシュメモリは使用できません。

1 **ワイヤレスネットワークセットアップウィザードを起動します。**

［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続*[1]］－［ワイヤレスネットワークセットアップウィザード］の順にクリックしてください。

＊ 1：コントロールパネルをクラシック表示にしているときは、表示されません。

2 **画面の指示に従って設定を進めます。**

この後の詳しい手順は、以下をご覧ください。

☞『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』

②無線 LAN 環境の確認

アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

③無線 LAN の有効化

1 ［無線 LAN 設定］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

- 上の画面になっていない場合は、【セットアップ】ボタンを押して、メニューの［ネットワーク設定］を選択します。

2 ［有効］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

④ WCN による無線 LAN の自動設定

1 ［WCN 無線 LAN 自動設定］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

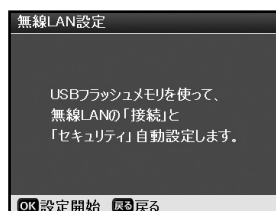
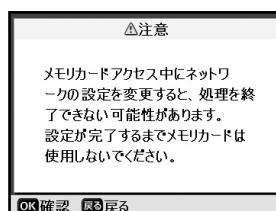
③ 【OK】ボタンで設定開始

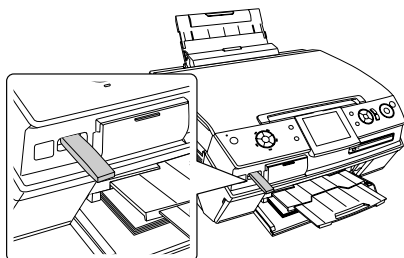
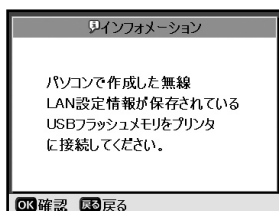
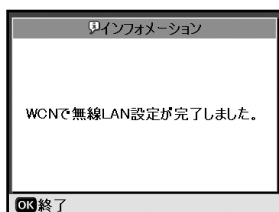
⚠注意

メモリカードアクセス中にネットワークの設定を変更すると、処理を終了できない可能性があります。
設定が完了するまでメモリカードは使用しないでください。

OK確認 戻る戻る

④ 【OK】ボタンで確認

つづく●●●➡

2 **設定情報を書き込んだ USB フラッシュメモリを本製品に取り付けます。**

USB フラッシュメモリは、本製品に直接取り付けてください。USB ハブなどは使用できません。

3 **USB フラッシュメモリ内の情報を読み込んで、設定します。**

① 【OK】ボタンで確認

② 【OK】ボタンで終了

4 **本製品から USB フラッシュメモリを取り外します。**

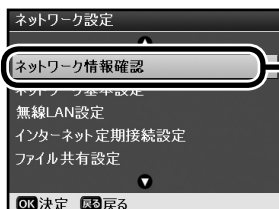
5 **無線 LAN の設定を書き込んだパソコンにもう一度 USB フラッシュメモリを接続して、画面の指示に従って設定を完了します。**

以上で、「WCN 無線 LAN 自動設定」の説明は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。
☞ 本書 21 ページ「接続状態の確認」

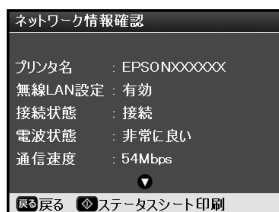
接続状態の確認

設定が終了したら、本製品がネットワークに接続できているか確認します。

1　［ネットワーク情報確認］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- 上の画面になっていない場合は、【セットアップ】ボタンを押して、メニューの［ネットワーク設定］を選択します。

2　接続の状態を確認します。

※ 設定した内容が表示されないときは、【戻る】ボタンを押して前の画面に戻り、しばらく待ってから確認してください。

無線 LAN 接続の場合

無線 LAN	「有効」になっていることを確認します。 「無効」になっているときは、以下のページに戻って設定し直してください。 ☞ 本書 15 ページ「無線 LAN の設定」
接続状態	「接続」になっていることを確認します。 「非接続」になっている場合は、電波状態を確認してセキュリティの設定をし直してください。 ☞ 本書 15 ページ「無線 LAN 手動設定」 ☞ 本書 17 ページ「AOSS 無線 LAN 自動設定」 ☞ 本書 19 ページ「WCN 無線 LAN 自動設定」
電波状態	電波状態が良くないときは、設置場所を変えるなどして電波状態を改善してください。

有線 LAN 接続の場合

イーサネット接続状態	「接続」になっていることを確認します。 「非接続」になっているときは、以下のページに戻って設定し直してください。 ☞ 本書 12 ページ「ネットワークの基本設定」

参考

- ステータスシートを印刷すると本製品のネットワーク設定の詳細な情報を確認できます。
  ☞本書 36 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」

以上で、「接続状態の確認」の説明は終了です。

次に印刷するパソコンにソフトウェアをインストールします。
☞本書 22 ページ「ソフトウェアのインストールについて」

ソフトウェアのインストールについて

ソフトウェアについて

本製品に付属のソフトウェアは以下の通りです。付属のソフトウェアの操作方法は各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

○ プリンタドライバ 画像や文書を印刷するためのソフトウェアです。 ○ スキャナドライバ EPSON Scan（エプソン スキャン） 画像や文書をスキャンするためのソフトウェアです。	○ EPSON Creativity Suite（エプソン クリエイティビティ スイート） 画像の管理から印刷までを簡単な操作で行うソフトウェアの集まりです。 以下のソフトウェアなどから構成されています。 • EPSON File Manager（エプソン ファイル マネージャ） • EPSON Easy Photo Print（エプソン イージー フォトプリント） • EPSON Copy Utility（エプソン コピー ユーティリティ） ○ EPSON Multi-PrintQuicker（エプソン マルチ プリント クイッカー） CD/DVD レーベル、名刺などを印刷するソフトウェアです。 ○ EPSON Web-To-Page（エプソン ウェブ トゥ ページ） Web ページを用紙の幅に収まるように印刷するソフトウェアです。Windows 用だけです。 ○ EPSON PRINT Image Framer Tool（エプソン プリント イメージフレーマー ツール） P.I.F. フレーム（写真枠）を追加 / 作成するソフトウェアです。 ○ 読ん de!! ココ パーソナル スキャンした文書の文字データをテキストデータに変換するソフトウェアです。

ソフトウェアのインストール条件

本製品にソフトウェアをインストールする際に必要なシステム条件は以下の通りです。

	Windows	Macintosh
インストール条件	Windows 98/Me/2000/XP プレインストールモデル（または、Windows 98 以降のプレインストールモデルから OS をアップグレードしたパソコン） ※Windows 98（Second Edition は除く）では、プリンタドライバ、スキャナドライバ、EPSON Multi-PrintQuicker のみ動作可能です。 これ以外のソフトウェアは、インストールされますが使用できません。	Mac OS X v10.2.8 以降で、USB I/F を標準搭載している Macintosh ※Mac OS X v10.3以降のファストユーザスイッチ機能（複数のユーザーが同時に 1 台のパソコンにログオンできる機能）には対応しておりません。
インストール時のアカウントについて	「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。	
ソフトウェアのバージョンについて	古いバージョンの EPSON Easy Photo Print がインストールされている旨のメッセージが表示されたときは、画面の指示に従って CD-ROM に収録されている新しいバージョンの EPSON Easy Photo Print をインストールしてください。古いバージョンでは、オートフォトファイン !EX などの機能が正常に動作しません。	

次にソフトウェアをインストールします。
ご利用の接続形態に合わせて、以下のページへお進みください。

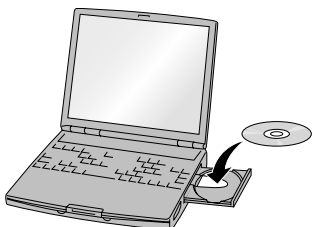
- ネットワーク接続　☞ 本書 23 ページ「ネットワーク接続時のインストール」
- USB 接続　☞ 本書 29 ページ「USB 接続時のインストール」

ネットワーク接続時のインストール

本製品とパソコンをネットワーク（有線 LAN/ 無線 LAN）接続しているときの、ソフトウェアのインストール手順を説明します。

ソフトウェアのインストール

1 本製品の電源がオンになっていることを確認します。

2 パソコンにソフトウェア CD-ROM をセットします。

3 Mac OS Xの場合は、[Mac OS X] アイコンをダブルクリックします。

参考

- 以下の画面が表示されたときは、[ブロックを解除する] をクリックしてください。[ブロックする] または [後で確認する] はクリックしないでください。

- 市販のセキュリティソフトが表示した画面で [ブロックする] や [遮断する] はクリックしないでください。
- 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してみてください。

4 下の画面が表示されたら、[おすすめインストール] をクリックします。

参考

- 上の画面が表示されないときは以下をご覧ください。
  < Windows XP >
  [スタート] − [マイコンピュータ] の順にクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
  < Windows 98/Me/2000 >
  デスクトップ上の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

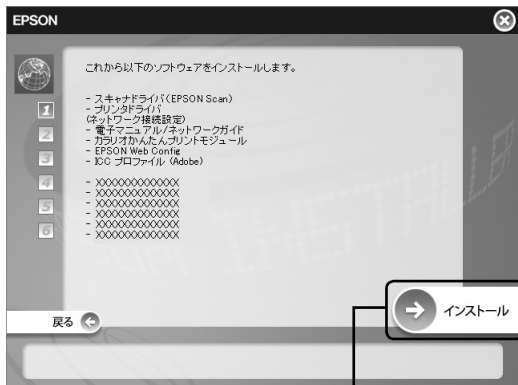
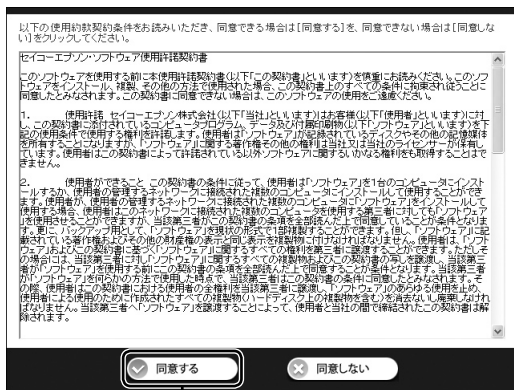
5 [ネットワーク接続] をクリックします。

つづく

6 ［次へ］をクリックします。

参考

- 「ネットワーク上に XXXXXX を見つけることができませんでした。」と表示されたときは、以下のページに戻ってネットワークの設定を確認してください。
本書 21 ページ「接続状態の確認」

7 ［インストール］をクリックします。

8 画面の内容を確認して、［同意する］をクリックします。

プリンタドライバ、スキャナドライバがインストールされてから手順 9 の画面が表示されます。

9 ［次へ］をクリックします。

10 Mac OS X の場合は、［次へ］をクリックして手順 16 へ進みます。

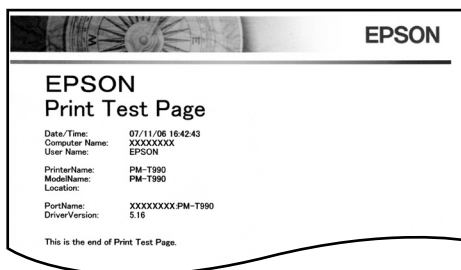
11 必要に応じてプリンタ名を変更して、［次へ］をクリックします。

プリンタ名を変更するときは、英数半角 32 文字以内で入力してください。

12 ［次へ］を選択できるようになったらクリックします。

13 前面オートシートフィーダに普通紙を 1 枚セットします。

本書 11 ページ「用紙のセット」

14 [はい]を選択して、[次へ]をクリックします。

上のようなテストページが印刷されれば、パソコンと本製品は正常に接続されています。

15 ［次へ］をクリックします。

16 ［次へ］をクリックします。

17 メモリカードへのアクセス属性を選択して、［次へ］をクリックします。

パソコンからメモリカードにデータを保存するときは、［読み書き可能］を選択します。

この後は、画面の指示に従ってインストールを進めます。

参考

- インストール終了後、デスクトップに「MyEPSON」アシスタントのショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。

■ Windows

以上で、準備完了です。
実際に印刷 / スキャンしてみましょう。

- 印刷 / スキャン方法は…
  『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』119 ページ「パソコンとつないで使う / もっと活用する」
- もしも印刷できなかったら…
  本書 40 ページ「パソコンからの印刷 / スキャン時のトラブル」
  『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』164 ページ「パソコンから印刷 / スキャンできない」

■ Mac OS X

次に、Mac OS X のプリンタリストに本製品を追加します。次ページへお進みください。

プリンタの追加（Mac OS X のみ）

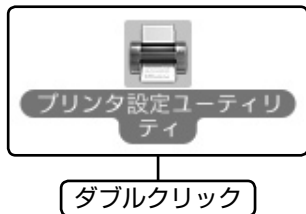
Mac OS X のプリンタリストに本製品を追加します。

1 ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。

参考

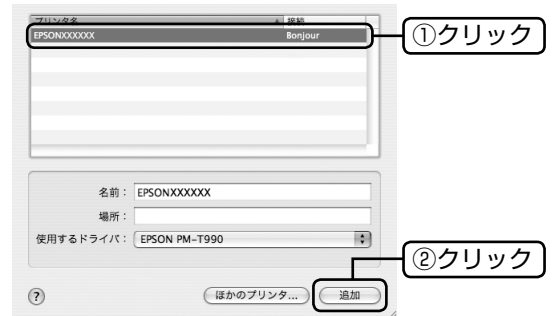
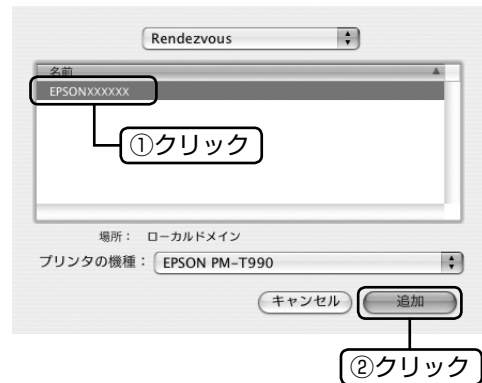
- ［Macintosh HD］アイコンの名前を変更しているときは、Mac OS X を起動しているドライブアイコンをダブルクリックしてください。

2 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックして、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

Mac OS X v10.2 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンではなく［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

3 ［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］をクリックします。

4 ［プリンタブラウザ］画面で、一覧から本製品をクリックして［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.2 ～ v10.3 の場合は、［プリンタリスト］画面で、［Rendezvous］を選択してから、本製品をクリックして［追加］をクリックしてください。

Mac OS X v10.4

Mac OS X v10.2-v10.3

参考

- ［Rendezvous］（Mac OS X v10.2.8 ～ v10.3）/［Bonjour］（Mac OS X v10.4 以降）で印刷するとき、本製品とパソコンは DHCP 機能で IP アドレスを自動取得している必要があります。固有の IP アドレスを本製品に割り当てているときは［EPSON TCP/IP］（または［TCP/IP］）を選択してください。
- Mac OS X v10.4 で本製品が目的の接続方法で表示されていないときは、以下の操作をします。
  ① ［ほかのプリンタ…］をクリックします。
  ② 表示された画面で接続方法を選択します。
  ③ 本製品を選択して、［追加］をクリックします。

以上で、「プリンタの追加（Mac OS X のみ）」の説明は終了です。

次にスキャナの接続と動作の確認をします。次ページへお進みください。

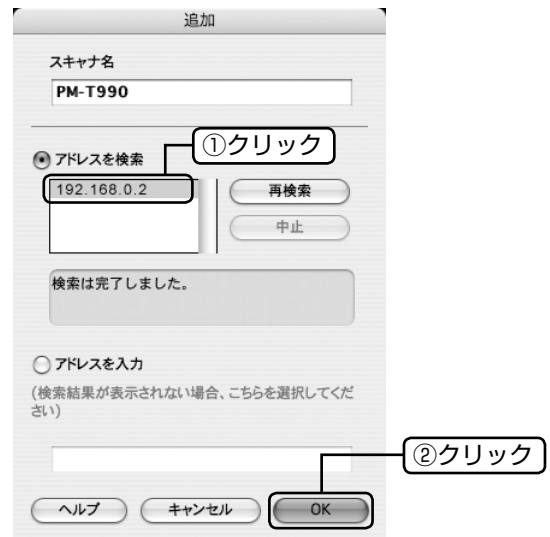
スキャナの接続と確認(Mac OS Xのみ)

EPSON Scan の接続先を設定して、動作を確認します。

1 [Macintosh HD] − [アプリケーション] − [ユーティリティ] − [EPSONScan の設定] をダブルクリックします。

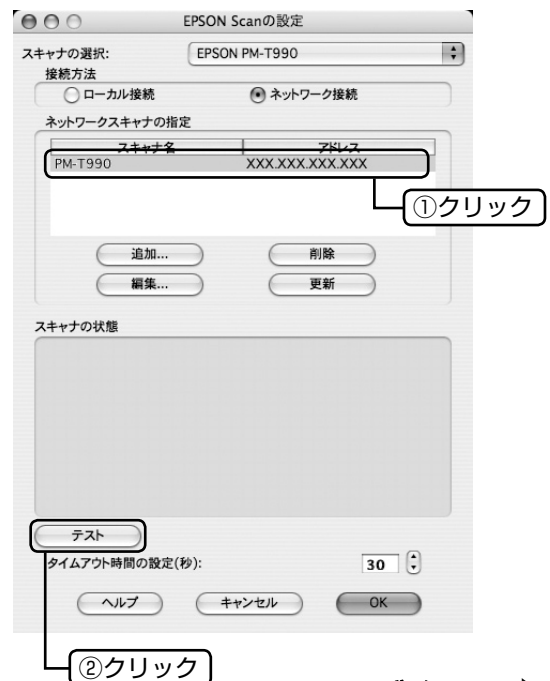
2 本製品が選択されているのを確認してから、[ネットワーク接続] をクリックして、[追加] をクリックします。

3 [スキャナ名] を入力して、検索が終了するのを待ちます。

4 本製品の IP アドレスをクリックして、[OK] をクリックします。

参考

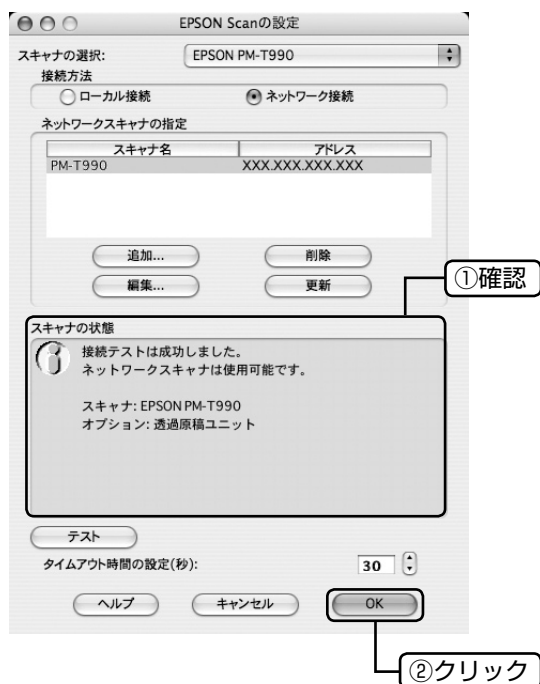
- アドレスが表示されないときは、接続を確認して [再検索] をクリックするか、[アドレスを入力] をクリックして、IP アドレスを直接指定してください。
  なお、IP アドレスを直接指定すると、IP アドレスを自動追従する機能が無効になります。

5 接続するスキャナをクリックして、[テスト] をクリックします。

[EPSON Scan の設定] 画面を開いた直後は、検索中のため選択できません。検索が終了して選択できるようになるまでお待ちください。

つづく

6　**［接続テストは成功しました］と表示されるのを確認して、［OK］をクリックします。**

スキャナが使用可能な状態にならないときは、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 40 ページ「印刷できない / スキャンできない」

以上で、準備完了です。
実際に印刷 / スキャンしてみましょう。

- 印刷 / スキャン方法は…
  ☞『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』119 ページ「パソコンとつないで使う / もっと活用する」
- もしも印刷できなかったら…
  ☞本書 40 ページ「パソコンからの印刷 / スキャン時のトラブル」
  ☞『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』164 ページ「パソコンから印刷 / スキャンできない」

2 台目のパソコンを本製品に接続するときは

本製品に付属のソフトウェアを 2 台目のパソコンにインストールしてください。

☞ 本書 23 ページ「ネットワーク接続時のインストール」

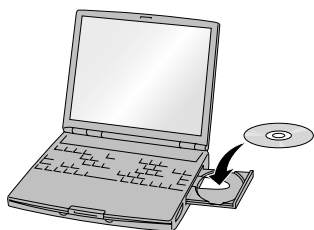
接続方法を変更するときは

プリンタとパソコンの接続方法をネットワーク接続から USB 接続に変更するときは、以下の作業をしてください。

- USB ケーブルで接続　☞ 本書 7 ページ
- USB 接続時のインストール　☞ 本書 29 ページ

USB 接続時のインストール

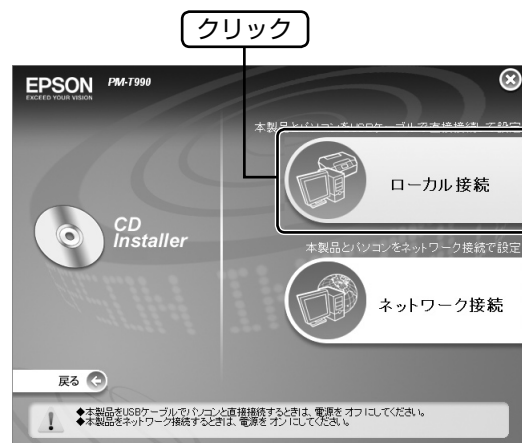
1 本製品の電源をオフにします。

2 パソコンにソフトウェア CD-ROM をセットします。

3 Mac OS Xの場合は、[Mac OS X] アイコンをダブルクリックします。

4 下の画面が表示されたら、[おすすめインストール] をクリックします。

参考

- 上の画面が表示されないときは以下をご覧ください。
  < Windows XP >
  [スタート] − [マイコンピュータ] の順にクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
  < Windows 98/Me/2000 >
  デスクトップ上の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
- 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されたときは、本製品の電源をオフにし、[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。

5 [ローカル接続] をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

- インストール終了後、デスクトップに「MyEPSON」アシスタントのショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。

以上で、準備完了です。
実際に印刷 / スキャンしてみましょう。

- 印刷 / スキャン方法は…
  ☞『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』119 ページ「パソコンとつないで使う / もっと活用する」
- もしも印刷できなかったら…
  ☞『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』164 ページ「パソコンから印刷 / スキャンできない」

接続方法を変更するときは

プリンタとパソコンの接続方法を USB 接続からネットワーク接続に変更するときは、以下の作業をしてください。

- 接続とネットワーク設定 ☞ 本書 6 ページ
- ネットワーク接続時のインストール ☞ 本書 23 ページ

デジタル家電と接続して印刷

プリント機能に対応したデジタル家電から､ネットワーク接続で印刷することができます。
本製品と接続可能なデジタル家電の情報は､エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

参考

- デジタルテレビと接続して本製品を活用する方法は、『TV プリント活用ガイド』をご覧ください。

デジタル家電との接続

本製品のネットワーク設定

以下のページに従って、本製品をインターネット接続できるように設定してください。

☞本書 6 ページ「接続方法の確認」～21 ページ「接続状態の確認」

デジタル家電のネットワーク設定

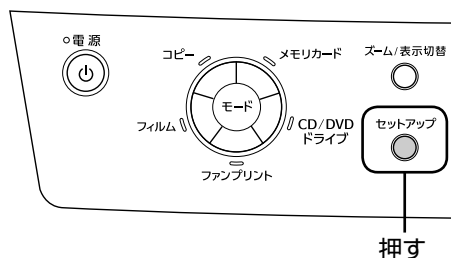
本製品をデジタル家電と接続するためには、デジタル家電がネットワーク（無線 LAN または有線 LAN）接続されている必要があります。デジタル家電のネットワーク接続方法については、デジタル家電の取扱説明書をご覧ください。

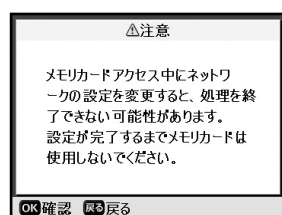
印刷の初期設定

デジタル家電から印刷するときの初期設定をします。初期設定は以下の方法で設定できます。

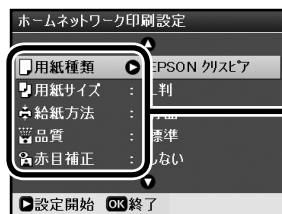
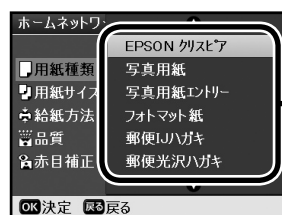
- 操作パネルで設定
- EPSON Web Config（エプソン ウェブ コンフィグ）で設定

操作パネルで設定

1 【セットアップ】ボタンを押して､セットアップモードにします。

2 メニューの［ホームネットワーク印刷設定］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

③【OK】ボタンで確認

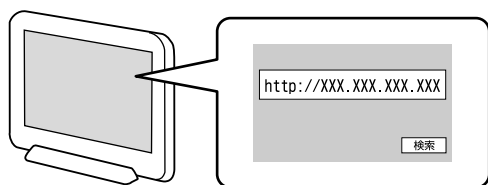
3 印刷設定を変更します。

用紙の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。［用紙種類］を設定してから［用紙サイズ］を設定します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで設定値選択
④【OK】ボタンで決定
⑤【OK】ボタンで設定終了

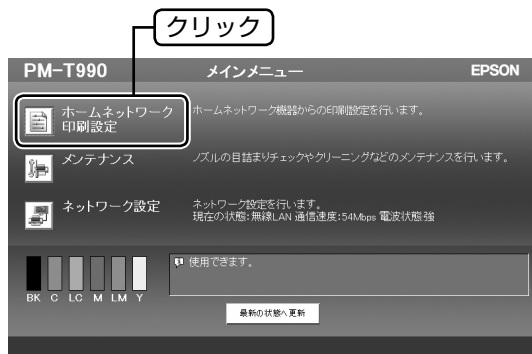
EPSON Web Config で設定

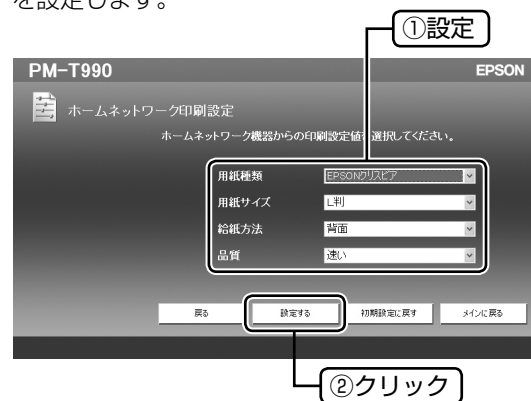
EPSON Web Config は本製品に内蔵されている機能です。デジタル家電で閲覧して設定できます。

1 デジタル家電のブラウザで、本製品の IP アドレスを入力して、検索を実行します。

- http://IP アドレス
  （< 例 >http://192.168.0.2）

参考

- 検索できないときは、本製品の IP アドレスを操作パネルで確認して IP アドレスを再入力してください。
  ☞本書 36 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」

2 ［ホームネットワーク印刷設定］を選択します。

3 印刷設定を変更します。

用紙の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。［用紙種類］を設定してから［用紙サイズ］を設定します。

以上で、「印刷の初期設定」の説明は終了です。

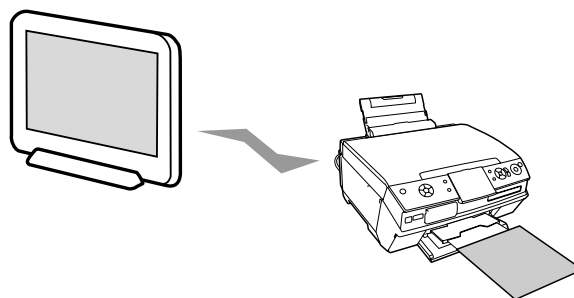
この後は、画面の説明をご覧になって設定してください。

印刷方法

1 印刷用紙をセットします。

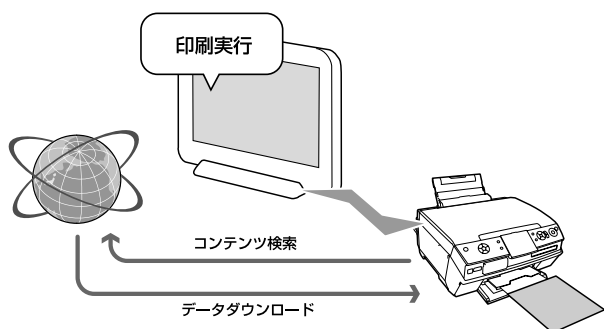
☞『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』
16 ページ「用紙のセット方法」

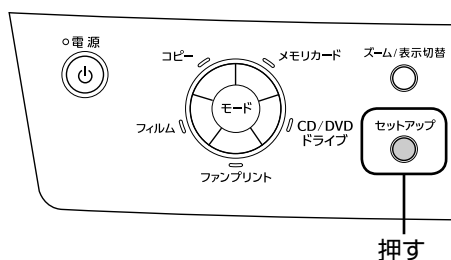
2 お使いのデジタル家電で印刷条件を設定して、印刷を実行します。

設定方法は、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。
正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

以上で、「印刷方法」の説明は終了です。

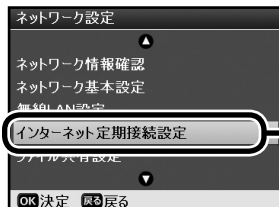
インターネット定期接続の設定

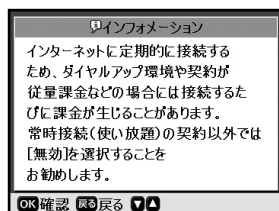
本製品は、デジタルテレビなどと接続して、データ放送の情報やインターネット上のコンテンツを印刷することができます。
いつでも印刷できるように、本製品がインターネットに接続可能なことを定期的に確認するための設定をします。

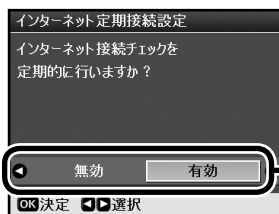
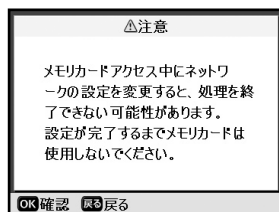
!注意

- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。
- インターネットに接続するため、ご利用の接続形態によっては課金が発生することがありますのでご注意ください。定額制の接続形態以外では、［無効］の設定をお勧めします。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの[ネットワーク設定]を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

3 [インターネット定期接続設定]を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定

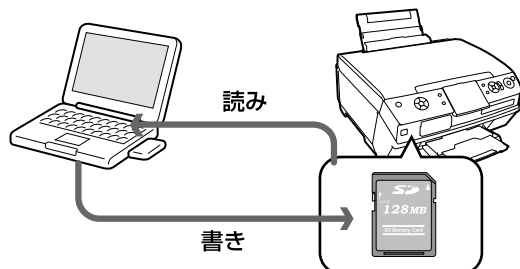
4 画面の内容を確認して、【OK】ボタンを押します。

①【OK】ボタンで確認

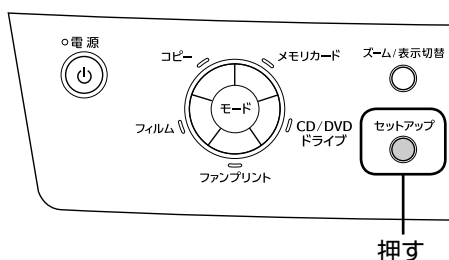
5 ［無効］/［有効］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定
③【OK】ボタンで確認

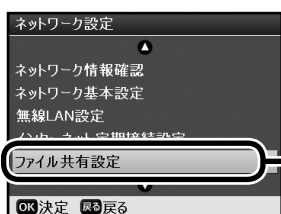
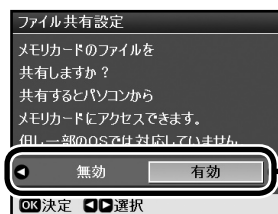
以上で、「インターネット定期接続の設定」の説明は終了です。

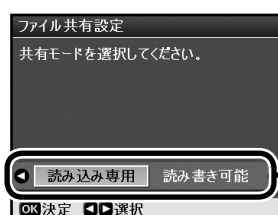
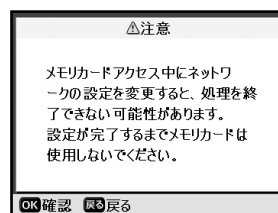
ファイル共有の設定

ネットワーク上のパソコンから、本製品のメモリカードのファイルにアクセスするときの設定を変更します。

！注意

- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの[ネットワーク設定]を選択します。

3 [ファイル共有設定]を選択します。

4 ［無効］/［有効］を選択します。

5 ［有効］を選択した場合は、パソコンに許可する内容を選択します。

以上で、「ファイル共有の設定」の説明は終了です。

ネットワーク設定の変更

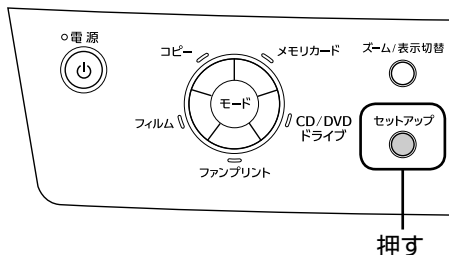
本製品のネットワークに関する設定は、以下の方法で変更できます。

- 操作パネルで設定
- EPSON Web Config で設定
- EpsonNet Config で設定

！注意

- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

操作パネルで設定

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの[ネットワーク設定]を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

この後の手順は、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 12 ページ「ネットワークの基本設定」
☞ 本書 15 ページ「無線 LAN の設定」

以上で、「操作パネルで設定」の説明は終了です。

EPSON Web Config で設定

EPSON Web Config は本製品に内蔵されている機能です。Web ブラウザで閲覧して設定できます。

起動方法

Windows

1 [スタート]−[すべてのプログラム](または[プログラム])−[EPSON]−[EPSON Web Config]の順にクリックして起動します。

- 「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、[ブロックを解除する]をクリックしてください。[ブロックする]をクリックしたときは、EPSON Web Config を Windows ファイアウォールに登録してください。
  ☞『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』

Mac OS X

1 Safari を起動します。

2 メニューから［Safari］－［環境設定］を選択します。

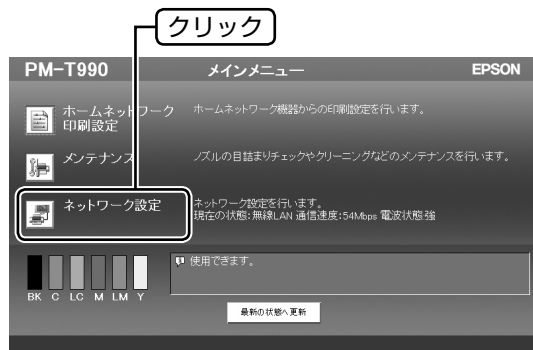
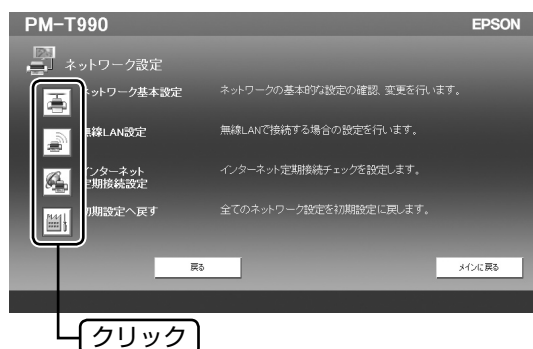
3 「ブックマーク」ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。

- ブックマークバー
  Bonjour を表示(または Rendezvous を含める)
- ブックマークメニュー
  Bonjour を表示(または Rendezvous を含める)

4 アドレスバー下のメニューに追加された[Bonjour]（または［Rendezvous]）をクリックし、ドロップダウンリストから本製品（Bonjour/Rendezvous プリンタ名）を選択します。

EPSON Web Config が Safari 上で表示されます。このとき、EpsonNet Config は起動しないでください。

設定方法

1 ［ネットワーク設定］をクリックします。

2 変更する設定のアイコンをクリックします。

この後は、画面の説明をご覧になって設定してください。

以上で、「EPSON Web Config で設定」の説明は終了です。

EpsonNet Config で設定

EpsonNet Config は、エプソン製品のネットワーク設定をするためのユーティリティソフトです。プリンタソフトウェア CD-ROM からインストールして使用できます。

起動方法

Windows

1 ［スタート］−［すべてのプログラム］（または［プログラム］）−［EpsonNet］−［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。

- 「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］をクリックしたときは、EpsonNet Config（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。

Mac OS X

1 ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダをダブルクリックします。

2 ［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。

3 ［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。

4 ［EpsonNet Config］アイコンをダブルクリックします。

設定方法

画面の一覧で、本製品を選択して、［設定開始］をクリックします。

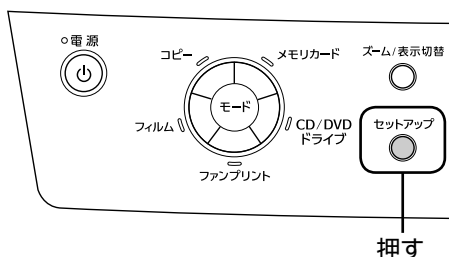
この後の手順と EpsonNet Config の詳細は、以下をご覧ください。

☞『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』

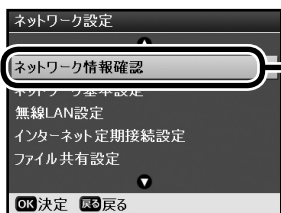
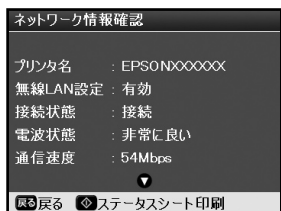
以上で、「EpsonNet Config で設定」の説明は終了です。

ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷

本製品のネットワーク設定の設定値は以下の手順で確認できます。また、ステータスシートを印刷するとネットワーク設定の詳細な情報を確認できます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの[ネットワーク設定]を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 [ネットワーク情報確認]を選択します。

4 接続の状態を確認します。

5 前面オートシートフィーダに普通紙をセットして、【スタート】ボタンを押します。

ステータスシートを印刷しないときは、【戻る】ボタンを押します。

☞ 本書 11 ページ「用紙のセット」

[ネットワーク情報確認] 画面

設定や環境によって、表示が異なります。

項目	設定値
プリンタ名	EPSONXXXXXX
イーサネット接続状態	接続 / 非接続
通信速度	10BASE-T Half Duplex/10BASE-T Full Duplex/100BASE-TX Half Duplex/100BASE-TX Full Duplex
無線 LAN	有効 / 無効
接続状態	接続 / 非接続 / アドホックモードのため不明
電波状態	非常に良い / 良い / 弱い / 悪い
通信速度	0 ～ 54Mbps （環境によって表示が異なります）
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
TCP/IP 設定方法	自動設定 / 手動設定
IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
ゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
DNS サーバ設定方法	自動設定 / 手動設定
プライマリ	XXX.XXX.XXX.XXX
セカンダリ	XXX.XXX.XXX.XXX
プロキシサーバ設定方法	使用する / 使用しない
プロキシサーバ	XXX.XXX.XXX.XXX
ポート	0 ～ 65535
無線 LAN 設定方法	手動設定 /AOSS （WCN を選択したときは手動設定と表示されます）
通信モード	インフラストラクチャ / アドホック
チャネル	1 ～ 13
SSID	XXXXX
セキュリティ設定	なし /WEP-64bit（40bit）/ WEP-128bit（104bit） WPA-PSK（TKIP）/WPA-PSK（AES）
暗号化 / 事前共有キー	＊＊＊＊＊ / 未設定
インターネット定期接続設定	有効 / 無効
ファイル共有設定	有効 / 無効
ファイル共有モード	読み込み専用 / 読み書き可能

ステータスシート

HHHH EPSON Status Sheet HHHH

<General Information>
MAC Address　XX:XX:XX:XX:XX:XX
Software　XX.XXXXXX
Printer Model　PM-T990
Printer Name　EPSONXXXXXX

<Ethernet>
Network Status　NONE
Port Type　NONE

<Wireless>
Wireless Mode　ON
Communication Mode　Infrastructure
Operation Mode　IEEE 802.11b/g
Transmission Rate　Auto(54Mbps)
SSID　XXX
Channel　11
Security Level　WEP-128bit(104bit)
AP Authentication Method　Auto(Open System)
Link Status　Connect
Access Point(MAC Address)　XX:XX:XX:XX:XX:XX

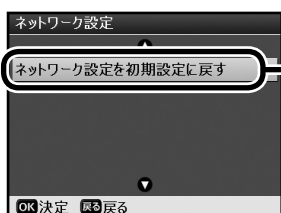
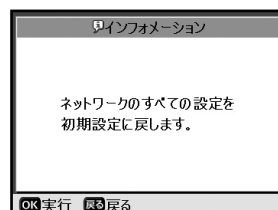
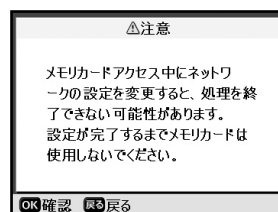
※ 設定の内容によっては、複数枚印刷されることがあります。

ネットワーク設定を初期設定に戻す

ネットワークの設定を購入時の設定に戻します。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの[ネットワーク設定]を選択します。

3 ［ネットワーク設定を初期設定に戻す］を選択します。

4 初期化を実行します。

以上で、「ネットワーク設定を初期設定に戻す」の説明は終了です。

ネットワーク設定時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● アクセスポイントと接続できない / 検出されない	■ アクセスポイントは接続可能な状態になっていますか？ お使いのパソコンなど他の機器で無線通信できるか確認してください。 ■ アクセスポイントとプリンタの位置が離れ過ぎていませんか？また障害物がありませんか？ プリンタの位置を移動してアクセスポイントと近づけたり、障害物を取り除いてください。 ■ アクセスポイントにアクセス制限を設定していませんか？ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）にアクセス制限を設定しているときは、本製品の MAC アドレスや IP アドレスをアクセスポイントに登録して、通信を許可しておいてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。 ■ アクセスポイントの設定で SSID（ネットワーク）名を表示させない設定にしていませんか？ アクセスポイント側でステルス機能などを使用して SSID を表示させないように設定しているときは、SSID を操作パネルで入力してください。 ☞ 本書 16 ページ「無線 LAN の手動設定」 ■ WEP キーやパスワードの設定は正しいですか？ 大文字、小文字の違いも許可されません。入力した WEP キーやパスワードが正しいか確認してください。 ■ 無線 LAN を内蔵したパソコンで、使用できる無線チャンネルが制限されていませんか？ 無線 LAN を内蔵したパソコンでは、使用できる無線チャンネルが制限されていることがあります。パソコンまたは無線 LAN カードなどの取扱説明書で、使用できる無線チャンネル番号を確認してください。そして、アクセスポイントに設定されている無線チャンネル番号が、上記で確認した無線チャンネル番号にに含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、アクセスポイントの無線チャンネルを変更してください。
● 有線 LAN で通信できない	■ 操作パネルの［無線 LAN 設定］は［無効］になっていますか？ ［有効］に設定されていると有線 LAN で通信できません。［無効］に設定してください。 ■ ハブ（HUB）やルータなどと、本製品の通信モード（Link Speed）があっていますか？ ハブやルータなどと本製品の通信モードの組み合わせが適切か確認してください。 ☞『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』 ■ 10Base-T リピータハブを使用していませんか？ 10Base-T リピータハブは動作しない場合があります。

以上を確認しても接続できないときは、ネットワーク設定を初期設定に戻してみてください。
☞ 本書 37 ページ「ネットワーク設定を初期設定に戻す」

ソフトウェアインストール時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
●「見つけることができませんでした。」と表示される	■ 無線 LAN 接続のときは、パソコンとアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ インターネット閲覧やメールなどの機能が正常に動作するか確認して、パソコンとアクセスポイントがネットワーク接続できていることを確認してください。 ■ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）、ケーブルなどが正常か確認してください。 まずアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）を見て、本製品を接続しているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。 リンクランプが消灯しているときは、次のことを確認してください。 • 他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか • 使用しているケーブルが断線していないかどうか • 無線に関する設定が、接続したいアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に合っているか ■ 無線 LAN 接続のときは、本製品とアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ 本製品の操作パネルで本製品とアクセスポイントが接続されていることを確認してください。 ☞ 本書 21 ページ「接続状態の確認」 ■ 有線 LAN 接続のときは、ハブ（HUB）またはルータなどの LAN ポートにパソコン、本製品が接続されていますか？ 各機器が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。 ■ 本製品の電源は入っていますか？ 本製品の電源をオンにしてください。 ■ IP アドレスは正しく設定されていますか？ 本製品の IP アドレスを［手動設定］にしているときは、IP アドレスが正しく設定されていないとパソコンと接続することができません。IP アドレスを正しく設定してください。 ☞ 本書 47 ページ「ネットワークの基礎知識」 ☞ 本書 14 ページ「TCP/IP の手動設定」 ■［Windows セキュリティの重要な警告］画面や市販のセキュリティソフトが表示した画面で、［ブロックする］や［遮断する］を選択していませんか？ ［ブロックする］や［遮断する］を選択すると、通信ができなくなります。通信を可能にするには Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで、例外アプリケーションソフトとして本製品のソフトウェアを登録してください。登録方法は以下を参照してください。 ☞『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』-「困ったときは」 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してみてください。

パソコンからの印刷 / スキャン時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 印刷できない / スキャンできない	■ 無線 LAN 接続のときは、パソコンとアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ インターネット閲覧やメールなどの機能が正常に動作するか確認して、パソコンとアクセスポイントがネットワーク接続できていることを確認してください。 ■ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）、ケーブルなどが正常か確認してください。 まずアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）を見て、本製品を接続しているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、アクセスポイントの電源を一旦オフにしてもう一度オンにしてみてください。 それでも印刷 / スキャンができないときは次のことを確認してください。 • 他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか • 使用しているケーブルが断線していないかどうか • 無線に関する設定が、接続したいアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に合っているか ■ 無線 LAN 接続のときは、本製品とアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ 操作パネルで本製品とアクセスポイントが接続されていることを確認してください。 ☞ 本書 21 ページ「接続状態の確認」 ■ 有線 LAN 接続のときは、ハブ（HUB）またはルータなどの LAN ポートにパソコンと本製品が接続されていますか？ 各機器が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。 ■ 本製品の電源は入っていますか？ 本製品の電源をオンにしてください。 ■ ネットワーク設定が正しいか確認してください。 操作パネルでステータスシートを印刷してネットワークの設定が正しいか確認してください。設定が異なる場合は、再設定してください。 ☞ 本書 36 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」 ☞ 本書 34 ページ「ネットワーク設定の変更」 ■ 接続方法を変更していませんか？ USB 接続から LAN 接続など接続方法を変更したときは、設定の変更が必要になることがあります。 ■ 操作パネルでネットワークの設定をしていませんか？ 操作パネルでネットワークの設定をしているときは、印刷できないことがあります。 設定を終了してから印刷を実行してください。
● EPSON Scan が起動できない	■ EPSON Scan の設定で IP アドレスを直接指定していませんか？ EPSON Scan の設定で IP アドレスを直接指定していると、IP アドレスを自動追従する機能が無効になります。本製品の IP アドレスを DHCP 機能で設定すると、本製品の電源を入れるたびに本製品の IP アドレスが変わるため、［アドレスを検索］で IP アドレスを指定することをお勧めします。 ☞ 本書 27 ページ「スキャナの接続と確認（Mac OS X のみ）」

デジタル家電接続時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● EPSON Web Config の画面を表示できない	■ IP アドレスを自動設定にしていませんか？ IP アドレスが［自動設定］になっていると IP アドレスが変わることがあります。IP アドレスが変わると、デジタル家電のブラウザにお気に入りとして本製品の IP アドレスを登録しているときに、検索できないことがあります。検索できないときは、本製品の IP アドレスを操作パネルで確認して、IP アドレスを再入力してください。

その他のトラブル

本書ではネットワーク接続時のトラブルのみを説明しています。
その他のトラブルは、以下のマニュアルをご覧ください。

コピー、メモリカードから印刷など本製品を単体で使用するときのトラブル

『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』の「困ったときは（トラブル対処方法）」をご覧ください。

PM-A970/PM-T990 操作ガイド	本製品の使い方全般を説明しています。

パソコンと接続して使用するときのトラブル

『PM-T990 活用＋サポートガイド（電子マニュアル）』の「トラブル対処方法」をご覧ください。

PM-T990 活用＋サポートガイド（電子マニュアル）	ソフトウェア CD-ROM に収録されています。ソフトウェアのインストールの際パソコンにインストールされます。パソコンとつないだときの詳しい使い方を説明しています。また、インターネットを介して、エプソンのホームページなどに接続し、最新ソフトウェアのダウンロードや、最新情報を入手することができます。

ネットワーク設定の詳しい対処方法

『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』をご覧ください。

PM-T990 ネットワーク 詳細設定ガイド （電子マニュアル）	ソフトウェア CD-ROM に収録されています。ソフトウェアのインストールの際パソコンにインストールされます。 ネットワーク環境で使用するための詳しい説明をしています。

仕様

技術的な仕様について記載しています。
ネットワーク以外の仕様については、『PM-A970/PM-T990 操作ガイド』をご覧ください。

無線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.11b/IEEE 802.11g
無線規格	ARIB STD-T66、RCR STD-33
周波数範囲	2.400 ～ 2.497 GHz
チャンネル	IEEE 802.11b：1 ～ 14ch IEEE 802.11g：1 ～ 13ch IEEE 802.11b/g：1 ～ 13ch
伝送方式	DS-SS、OFDM
通信速度	1、2、5.5、11Mbps モード（IEEE 802.11b） 6、9、12、18、24、36、48、54Mbps モード（IEEE 802.11g）
通信モード	インフラストラクチャ / アドホック
セキュリティ	WEP（64/128bit）、WPA-PSK（TKIP）、WPA-PSK（AES）*1

＊ 1：WPA2 規格に対応

! 注意

- 通信速度は、規格上の通信速度表記であり、理論上の最大通信速度や実際の通信可能速度を示すものではありません。実際の通信速度は、環境により異なります。

有線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.3
通信モード	10Base-T/100Base-TX 自動またはマニュアル選択 ※ 10Base-T リピータハブは動作しない場合があります。
コネクタ形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

電波に関するご注意

機器認定について

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名　：WLU3020-D69（RoHS）
- 認証番号：005NYCA0373
  005GZCA0092

周波数について

本製品は、2.4GHZ 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

- 「本製品使用上の注意」が記載されているシールが同梱されています。本製品のどこか目立つところに貼り付けてください。

本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。
他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Allianceのホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。

2.4 DS/OF 4

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

付録

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

本製品の使用時におけるセキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線 LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
本製品のセキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします

オープンソースソフトウェアについて

本製品は当社が権利を有するソフトウェアのほかにオープンソースソフトウェアを利用しています。
本製品に利用にされているオープンソースソフトウェアに関する情報は下記の通りです。

GPL および LGPL について

(1) 当社は、GNU General Public License Version 2, June 1991 またはそれ以降のバージョン（以下「GPL」）および GNU LESSER General Public License Version 2, June 1991 またはそれ以降のバージョン（以下「LGPL」）の適用対象となるオープンソースソフトウェアを本製品に利用しています。
GPL および LGPL の全文は本製品に付属の『ソフトウェア CD-ROM』の以下のファイルにてご確認いただけます。
¥MANUAL ¥JPN ¥ETCG ¥LICENSE.PDF
また、以下の Web サイトでもご覧いただけます。
GPL：http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
LGPL：http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

(2) 当社は、本製品に含まれる GPL および LGPL の適用対象となるオープンソースソフトウェアについて GPL および LGPL に基づきソースコードを開示しています。当該オープンソースソフトウェアの複製、改変、頒布を希望される方は、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。
なお、当該オープンソースソフトウェアを複製、改変、頒布する場合は GPL および LGPL の条件に従ってください。

(3) 本製品に含まれる GPL および LGPL の適用対象となるオープンソースソフトウェアの一覧、および、当該オープンソースソフトウェアの著作権者は、上記（2）にて開示するソースコード内、および付随する文書に記載してあります。

Bonjour について

(1) 当社はオープンソースソフトウェア「Bonjour」を当該オープンソースソフトウェアの著作権者である Apple Computer Inc. から提示されたライセンス契約：Apple Public Source License Version1.2 またはそれ以降のバージョン（以下「Apple 社ライセンス契約」）に従い本製品に利用しています。
Apple 社ライセンス契約の全文は本製品に付属の『ソフトウェア CD-ROM』の以下のファイルにてご確認いただけます。
¥MANUAL ¥JPN ¥ETCG ¥LICENSE.PDF
また、以下の Web サイトでもご覧いただけます。
Apple 社ライセンス契約
http://www.opensource.org/licenses/apsl.html

(2) 当社は、本製品に含まれる「Bonjour」について、Apple 社ライセンス契約に基づきソースコードを開示しています。「Bonjour」の複製、改変、頒布を希望される方は、カラリオインフォメーションセンターにご連絡ください。なお、「Bonjour」を複製、改変、頒布する場合は Apple 社ライセンス契約に従ってください。

Net-SNMP について

(1) 当社はオープンソースソフトウェア「Net-SNMP」を当該オープンソースソフトウェアの著作権者から提示された条件（以下「Net-SNMP ライセンス」）に従い本製品に利用しています。「Net-SNMP」は5つのパートに分かれておりそれぞれの著作権者は以下のとおりです。また、「Net-SNMP」に関するそれぞれのライセンス条件は本製品に付属の『ソフトウェア CD-ROM』の以下のファイルにてご確認いただけます。
¥MANUAL ¥JPN ¥ETCG ¥LICENSE.PDF

(2) 著作権表示

(i) Part1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like)

(ii) Part2: Networks Associates Technology, Inc. Copyright notice (BSD)

(iii) Part3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD)

(iv) Part4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD)

(v) Part5: Sparta, Inc copyright notice (BSD)

OpenSSL toolkit について

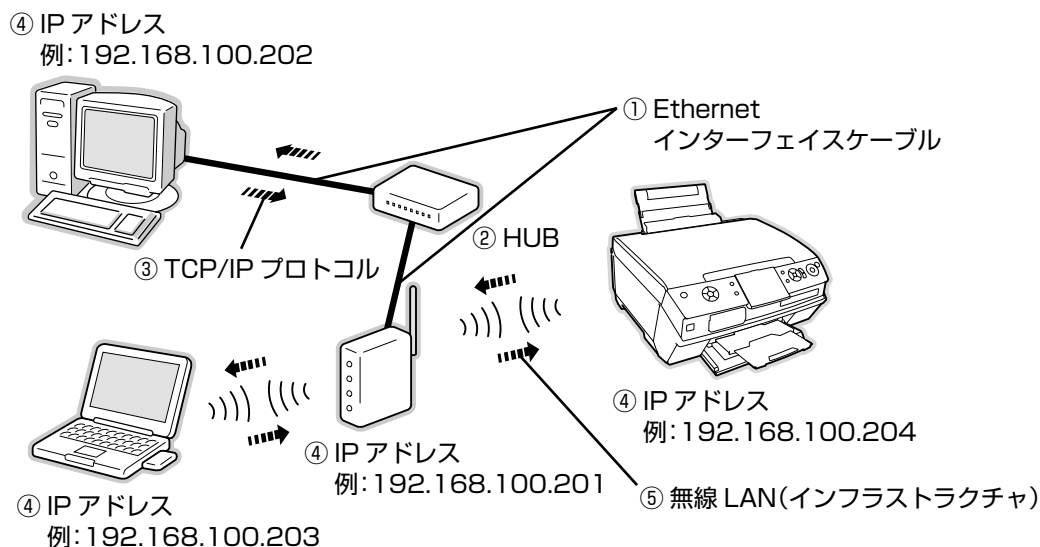
(1) This product includes software developed by the OpenSSL project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).
（本製品には OpenSSL Project により開発された OpenSSL Toolkit ソフトウェアが含まれています。）

(2) This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
（本製品には Eric Young 氏（eay@cryptsoft.com）が開発した暗号化ソフトウェアが含まれています。）

(3) 当社はオープンソースソフトウェア OpenSSL toolkit を当該オープンソースソフトウェアの著作権者から提示された 2 つの条件：OpenSSL License および Original SSLeay License に従い本製品に利用しています。OpenSSL License および Original SSLeay License は本製品に付属の『ソフトウェア CD-ROM』の以下のファイルにてご確認いただけます。
¥MANUAL ¥JPN ¥ETCG ¥LICENSE.PDF

ネットワークの基礎知識

用語の説明

プリンタのネットワーク共有に必要な用語について説明します。

① Ethernet（イーサネット）インターフェイスケーブル（LAN ケーブル）

Ethernet とはネットワークの規格のことで、ケーブルの接続の規格には、10Base と 100Base があります。本製品は、10Base-T（テンベースティー）、100Base-TX（ヒャクベースティーエックス）に対応しています。

②ハブ（HUB）

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のパソコンやプリンタはハブを介して接続します。ハブには、データの送り先を認識して送信するスイッチングハブと、すべてのポートに送信するリピータハブがあります。

③ TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。
インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。
ネットワーク上のすべてのパソコンに組み込む必要があります。

④ IP アドレス（アイピーアドレス）

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、パソコンをネットワーク上で使用するには、パソコン 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上のすべてのパソコンやプリンタに IP アドレスを割り振る必要があります。
次ページで IP アドレスについて詳しく説明しています。

⑤無線 LAN（インフラストラクチャ）

インフラストラクチャとは、無線 LAN 通信のモードの 1 つで、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由して、ネットワークに接続する方法です。

IP アドレスは何番にする？

複数のパソコンで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）する場合には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダ（通称 ISP）がします）。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切しないという条件のもとに、次の範囲のプライベートアドレスを使用できます。

プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

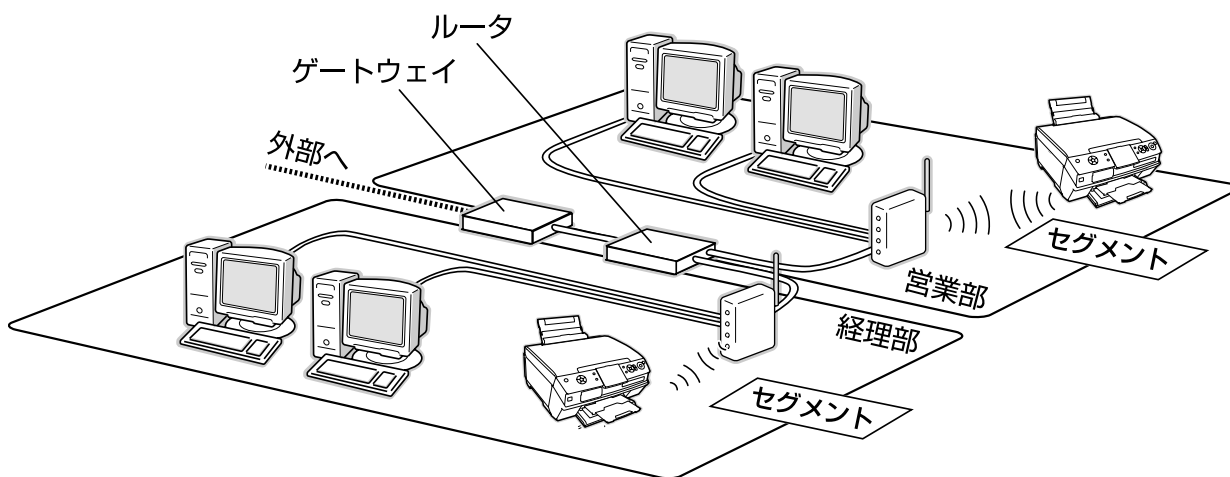
！注意

- 本製品の初期(お買い上げ時)の IP アドレスは[自動]に設定されています。

IP アドレスの割り振り方

IP アドレスをネットワーク上のパソコンに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。
電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルータと呼ばれる中継器で分けます。

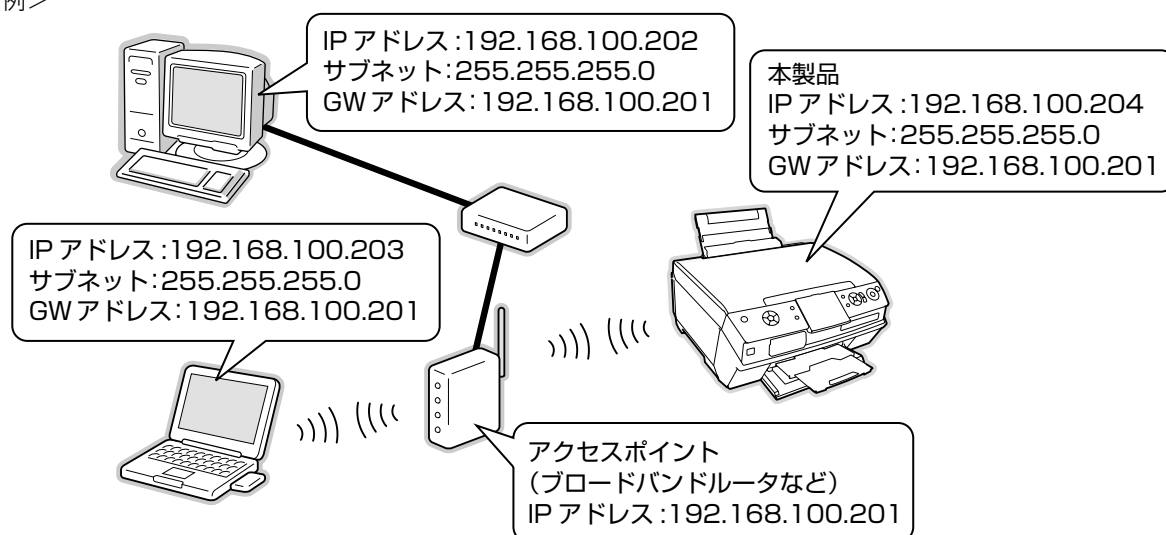
参考

- ゲートウェイ、ルータとは
  同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルータ、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルータによって分けられるエリアをセグメントと呼びます。

エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例：255.255.255.0）で表されます。
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます)、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。

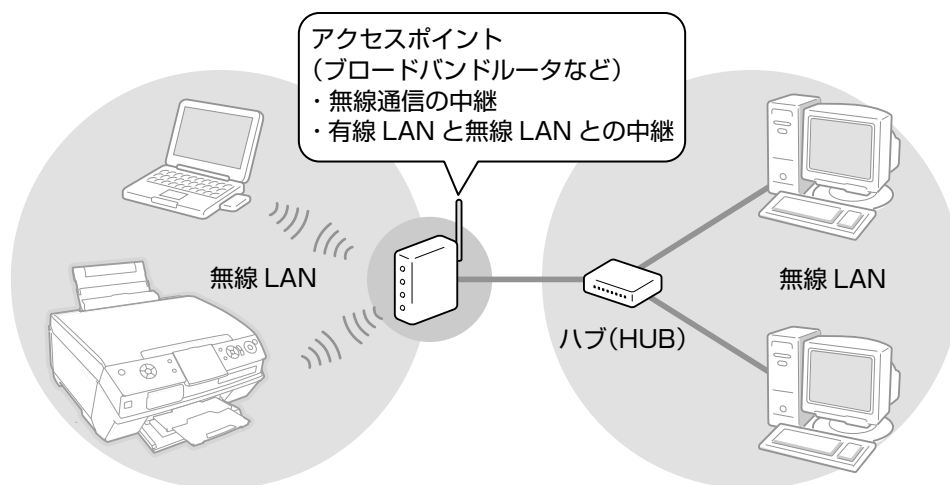
<例> IP アドレスが「192.168.100.200」の場合

IP アドレス	あるパソコンは、192.168.100.202、他のパソコンには 192.168.100.203、本製品には 192.168.100.204 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 〜 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば問題ありません。プリンタを利用するすべてのパソコンで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバやルータのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

<例>

付録

ネットワーク用語の説明

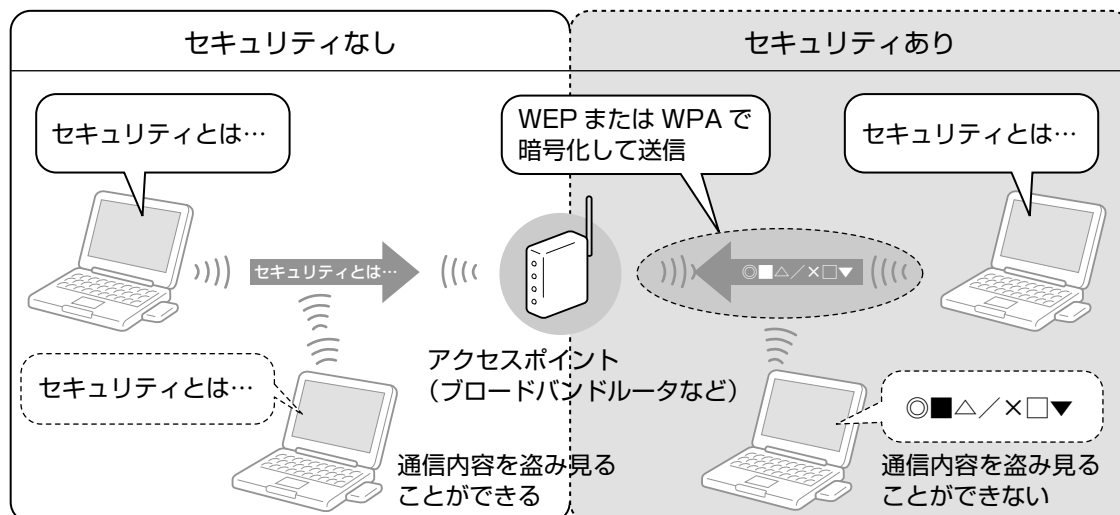
■アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）

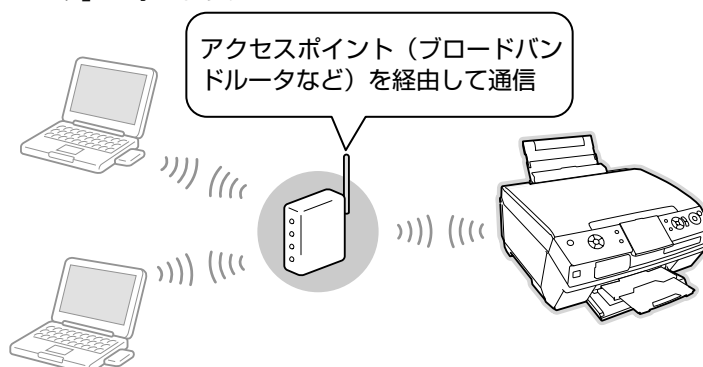
無線通信の橋渡しをする装置です。有線 LAN と無線 LAN の中継もします。

■アドホックモード

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由せずに、デバイス同士が無線で直接通信する方式です。
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を必要としない小規模な無線 LAN に適した通信方式です。
このアドホックモードに対して､アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由する無線通信の方式を「インフラストラクチャモード」と呼びます。

本製品をアドホックモードで使うには、付属の EpsonNet Config ツールを使って設定します。EpsonNet Config の使い方については、以下をご覧ください。
『PM-T990 ネットワーク詳細設定ガイド（電子マニュアル）』

■暗号化（セキュリティ）方式

一般的には「安全」や「防犯」を意味します。ネットワーク環境でのセキュリティとは､通信時に第三者が不正にデータを傍受したり改ざんしたりすることを防ぐための技術を指します。
無線 LAN での通信は第三者からの傍受が容易であるため、送信されるパケットを暗号化することで傍受者に内容を知られないようにします。暗号化技術には、WEP や WPA などの技術を利用します。

■インフラストラクチャモード

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由して、デバイス同士が無線などで通信する方式です。数多くのデバイスが接続しているネットワークに適した通信方式です。
このインフラストラクチャモードに対して、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由しない無線通信の方式を「アドホックモード」と呼びます。

■サブネットマスク

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）ネットワーク内のグループを識別するため、ネットワーク内の住所にあたるIP アドレスの一部であるネットワークアドレスを用います。
サブネットマスクとは、このネットワークアドレスに何ビットを使用するかを定義するための数値です。サブネットマスクはIPアドレス同様に32ビットの数値からなり､クラスCのネットワークでは24ビット(255.255.255.0)が標準で使用されています。

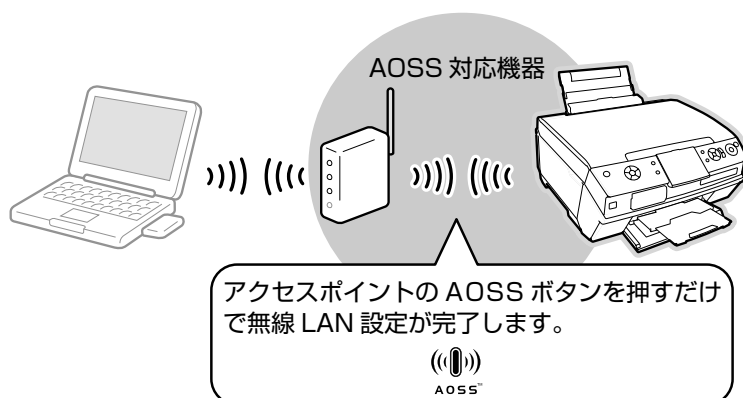
■デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるデバイスと通信する際に、ネットワークの「出入り口」の役割を果たすルータなどの機器を指します。

■ルータ

ネットワーク上でやりとりされるデータを、他のネットワークに経由するための装置です。データをどの経路を通して転送すべきかを判断する、経路選択（ルーティング）機能を持っています。

■ AOSS（エイオーエスエス）

株式会社バッファローが開発した、パソコンを使わずに無線 LAN 設定やセキュリティ設定が可能なシステムです。バッファロー製の AOSS モード対応アクセスポイントに接続する際に、アクセスポイントの AOSS ボタンを押すことで無線 LAN 設定を簡単にすることができます。

■ DHCP（ディーエイチシーピー）

デバイスの IP アドレスやデフォルトゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコルです。このプロトコルに対応したサーバを DHCP サーバと呼びます。DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンなどが起動したときに他で使用されていない IP アドレスを自動的に割り当てます。
DHCP を使うとネットワークの設定に詳しくないユーザーでも簡単にネットワークを利用できるとともに、ネットワーク管理者は多くのパソコンを一元管理することができます。

■ IP（アイピー）

TCP/IP における、ネットワーク層のプロトコルです。ネットワークに接続しているデバイスの識別番号（アドレス）割り当てや、ネットワーク内での通信経路の選択（ルーティング）をするための方法を定義しています。インターネットは、IP によって相互の接続と通信を可能としています。

■ IP アドレス（アイピーアドレス）

IP のネットワークに接続しているデバイス 1 台 1 台に割り振られる識別番号（アドレス）を指します。主に 8 ビットごとに 4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われており、「192.168.100.200」などのように、0 から 255 までの 10 進数の数字を 4 つ並べて表現します。
インターネット上での IP アドレス重複を避けるため、各国の NIC（ニック）という機関が IP アドレス割り当てなどの管理をしています。

■ MAC アドレス（マックアドレス）

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

■ MAC アドレスフィルタリング（マックアドレスフィルタリング）

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）が、各 Ethernet カードに固有の ID 番号である MAC アドレスを識別することで通信を制限するセキュリティ技術です。あらかじめ登録されている MAC（マック）アドレスを持つデバイスのみ通信を許可します。

■ SSID（エスエスアイディー）

無線通信時の混信を避けるために付けられる識別子（ネットワーク名）です。ESSID と呼ぶ場合もあります。
IEEE 802.11 シリーズの無線 LAN におけるネットワークで使用され、最大 32 文字までの英数字を用いて任意に設定します。
SSID は十分なセキュリティを備えていないため、別途 WEP（ウェップ）キーなどを設定する必要があります。

■ TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

インターネットなどのネットワーク通信で広く使われているプロトコルです。

■ WCN（ダブリューシーエヌ）

Windows Connect Now。Windows XP Service Pack2（SP2）の機能で、USB フラッシュメモリを使って無線 LAN の接続やセキュリティを自動設定できます。

■ WEP キー（ウェップキー）

無線通信における暗号化技術の 1 つです。決められた WEP キーを共有する者同士のみが無線通信することができます。
本製品では 64bit と 128bit の 2 種類の WEP キーをサポートしています。

	ASCII	16 進数
WEP-64bit（40bit）	5 文字	10 桁
WEP-128bit（104bit）	13 文字	26 桁

ASCII 文字を選択した場合は半角英数字記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）、16 進数を選択した場合は 0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベットで入力します。

■ WPA（ダブリューピーエー）

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が発表した、無線 LAN の暗号化方式の規格です。
今まで採用されてきた WEP（ウェップ）の弱点を補強し、セキュリティ性を向上させています。
本製品では WPA-PSK（TKIP/AES）をサポートしており、パスワードで入力できる文字は、8 ～ 63 文字の半角英数記号となります。（パスワードでは、大文字と小文字は別の文字として扱われます。）

Apple の名称、Macintosh、Mac、Mac OS、Bonjour は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。

"EpsonNet Config" and "EpsonNet EasyInstall" incorporate compression code from the Info-ZIP group. There are no extra charges or costs due to the use of this code,and the original compression sources are freely available from http://www.infozip. org on the Internet.

その他の製品名は各会社の商標または登録商標です。

EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
EPSON Multi-PrintQuicker は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書では、Windows XP と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。
本製品が対応している Mac OS のバージョンは、Mac OS X v10.2.8 以降です。
本書中では、上記オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しているところがあります。

This product incorporates intellectual property owned by Microsoft Corporation and cannot be made, used, sold, offered for sale, imported, or distributed without a license from Microsoft Corporation. Making, using selling, offering for sale, importing or distributing such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft Corporation. Seiko Epson Corporation does not grant any such license rights. To obtain license rights from Microsoft, Customer must contact Microsoft at the following web address: IPLG@microsoft.com, and reference ‘WCN License.’

参考訳（本訳文は参考目的に作成したものであり、詳細は上記原文をご確認ください。上記原文と本訳文との間に矛盾がある場合、上記原文の内容が優先します。）
本製品にはマイクロソフトコーポレーションが所有する知的財産権が組み込まれており、マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品を製作、販売、輸入または頒布等を行うことはできません。マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品以外に当該技術を利用、輸入または頒布等を行うことは禁止されています。当社はこれらの権利に関して一切利用許諾は行いません。マイクロソフトコーポレーションより当該利用許諾を受けるには、お客様はマイクロソフトコーポレーションの WEB サイト（IPLG@microsoft.com）にアクセスし、"WCN License" を参照してください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

PM-T990 準備ガイド

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　050-3155-8022
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、042-589-5251におかけください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

【電話番号】　0570-090-090
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ（株）の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電各社へご依頼ください。また、携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*松本修理センターは365日受付可（平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします）
*ドアtoドアサービスついて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL（03）5321-9738　　大阪　TEL（06）6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンOAサプライでお買い求めください。
（ホームページアドレスhttp://epson-supply.jpまたはフリーコール0120-251-528）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221-7911　東京（042）585-8500　名古屋（052）202-9532　大阪（06）6397-4359　福岡（092）452-3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

コンシューマ（SPC）　2006. 5

この取扱説明書は再生紙を使用しています。本書はリサイクルに配慮して作成しています。不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

EPSON

410686900

Printed in Japan XX.XX-XX XXX